

# 2023年度 大学院 学生募集要項

8月募集		1月募集
出願期間	7月26日(火) ～8月1日(月)必着	1月13日(金) ～1月20日(金)必着
試験日	9月24日(土)	2月24日(金)
合格発表日	10月7日(金)	3月3日(金)

Web出願ではありません 本募集要項を含む出願書類を、必ず資料請求してください。

大学院入試では、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続等で、受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。  
「UCARO」の登録はP.4をご確認ください。

## 新型コロナウイルス感染症の影響による緊急措置について

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、2023年度入学者選抜試験について、やむを得ず、試験日、選抜方法等を変更する緊急措置を講じる場合があります。また、これらの緊急措置は、出願期間後であっても講じる場合があります。なお、2023年度入学者選抜試験における緊急措置を講じる場合には、本学ホームページ「受験生サイト（<https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>）」等にて周知いたします。

# 目 次

<b>1 各研究科共通事項</b>	1
1. 入試日程	
2. 出願資格	
3. 事前協議	
4. 入学検定料	
5. 出願方法	
6. 出願及び受験上の注意	
7. 「UCARO」の登録について	
8. 出願連携について	
9. 受験票（受験番号）の発行	
10. 合格発表	
11. 入学手続	
2023年度入学生初年度学費及びその他諸納金 長期履修学生制度について	
<b>2 文学研究科</b>	11
募集概要	
授業科目表	
<b>3 経済学研究科</b>	29
募集概要	
授業科目表	
<b>4 法学研究科</b>	47
募集概要	
授業科目表	
<b>5 工学研究科</b>	65
募集概要	
授業科目表	
<b>6 看護学研究科</b>	91
募集概要	
授業科目表	
<b>7 キャンパス案内図</b>	98
<b>8 志願票記入例</b>	100
<b>9 各種記入用紙</b>	103
◆ 事前協議申込書	(1)
◆ 履歴票	(2)
◆ 職務経験書（表紙）	(3)
◆ 研究計画書（文学研究科）	(4)
◆ 社会人（推薦）入学試験 在職（所属）する機関等の推薦状	(5)
◆ 研究計画書（経済学研究科）（表紙）	(6)
◆ 出願資格審査願（法学研究科）	(7)
◆ 研究計画書（法学研究科）（表紙）	(8)
◆ リサーチペーパー（法学研究科）（表紙）	(9)
◆ 自己推薦状（法学研究科）	(10)
◆ 公募制推薦入学試験推薦状（工学研究科）	(11)
◆ 入学試験出願資格認定申請書（看護学研究科）	(12)
◆ 研究計画書（看護学研究科）（表紙）	(13)
◆ 志望理由書（看護学研究科）（表紙）	(14)
◆ 長期履修申請書	(15)
◆ 長期履修計画書（経済学研究科）	(16)
◆ 在職証明書（経済学研究科）	(17)

## 【入学者選抜情報】

研究科	課程	専攻	定員総数	8月募集	1月募集	該当ページ
文学研究科	博士前期課程	英語英米文学専攻	8	●	●	P. 11～
		比較日本文化専攻	8	●	●	
		社会学専攻	8	●	●	
	博士後期課程	英語英米文学専攻	3	●	●	
		比較日本文化専攻	2	●	●	
		社会学専攻	2	●	●	
経済学研究科	博士前期課程	経済学専攻	10	●	●	P. 29～
		経営学専攻	10	●	●	
	博士後期課程	経済学専攻	5	●	●	
		経営学専攻	5	●	●	
法学研究科	博士前期課程	法学専攻(研究者養成コース)	5*	●	●	P. 47～
		法学専攻(専修コース)		●	●	
		地域創生専攻 [※2023年4月設置予定]	3*		●	
	博士後期課程	法学専攻	2	●	●	
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻	7	●	●	P. 65～
		電気工学専攻	7	●	●	
		情報学専攻	3	●	●	
		建築学専攻	10	●	●	
		土木工学専攻	5	●	●	
		物質生命科学専攻	12	●	●	
	博士後期課程	建築学専攻	3	●	●	
		総合工学専攻	7	●	●	
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	8	●	●	P. 91～

※法学研究科博士前期課程の入学定員は変更になる場合があります。

1

# 各研究科共通事項

募集人数、出願資格、選抜方法等は各研究科のページを参照してください。

また、各研究科の学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び入学者受入方針は、関東学院大学ホームページを参照してください。

## 1. 入試日程

募集時期	8月募集	1月募集
出願期間	7月26日(火)～8月1日(月)必着	1月13日(金)～1月20日(金)必着
試験日	9月24日(土)	2月24日(金)
合格発表日	10月7日(金)	3月3日(金)
入学手続期間	[入学金納入期間] 10月7日(金)～10月21日(金) [春学期学費及びその他諸納金納入期間] 10月7日(金)～2023年1月6日(金)	[入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間] 3月3日(金)～3月10日(金)

※「出願資格」の認定を希望する者は、8月募集については6月27日(月)までに、1月募集については12月9日(金)までに、アドミッションズセンターへ申し出てください。

詳細は、関東学院大学 受験生サイト (<https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>) にてご確認ください。

## 2. 出願資格

(一般入学試験以外の入試については、各研究科のページをあわせて確認してください。)

### 【博士前期・修士課程 一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者、または2023年3月末までに該当する見込みのある者

(1) 大学を卒業した者

(2) 学士の学位を授与された者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 2023年3月31日時点で大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時（4月1日現在）に22歳に達している者

**【博士後期課程 一般入学試験】**

下記のいずれかに該当する者、または2023年3月末までに該当する見込みのある者

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 修士の学位または専門職学位に相当する外国の学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時（4月1日現在）24歳に達している者

**3. 事前協議**

出願に先立って事前協議を行うことがあります。

各研究科「事前協議」の項目を参照してください。

**4. 入学検定料**

35,000円

**納入方法**

- (1) 本学所定の志願票に必要事項を記入のうえ、金融機関窓口より「電信扱」で振り込んでください。  
(自動振込機〔ATM〕は不可)
- (2) 振り込み後、志願票の所定欄に取扱金融機関収納印が押印されていることを確認してください。取扱金融機関収納印がない場合は、入学検定料を振り込んだ証明にならないので十分注意してください。

**注】** 関東学院大学を卒業（見込み）または関東学院大学大学院を修了（見込み）の者が受験する場合、入学検定料は免除となりますので、入学検定料を振り込まずに出願してください。

詳しくはアドミッションズセンター（Tel. 045-786-7019）までお問い合わせください。

**5. 出願方法**

- (1) 出願書類は、本学所定の出願封筒を使用して簡易書留速達で郵便局窓口より郵送してください。
- (2) 大学へ直接出願する場合は、入学検定料を金融機関で振り込んだ後、出願書類を以下に持参してください。

受付場所………アドミッションズセンター（金沢八景キャンパス：1号館2階）

受付時間………月～金 9:00～16:00

土 9:00～12:00

※日・祝日・夏期・冬期休業期間等を除く

※一度提出された出願書類は、返還しません。

## 6. 出願及び受験上の注意

- (1) 一度提出した書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 受験票は、すべて受験ポータルサイト「UCARO」を通じて発行します。A4サイズで印刷して、試験当日に必ず持参してください。「UCARO」の利用方法はP.4～P.7を参照してください。  
受験票ダウンロード開始日時（予定） 8月募集：9月6日(火) 1月募集：2月6日(月)
- (3) 試験当日、試験場案内を配付しますので、以下の場所で受け取ってください。
 

文学研究科	教務課（金沢文庫キャンパス：教室棟1階）
経済学研究科	アドミッションズセンター（金沢八景キャンパス：1号館2階）
法学研究科	
工学研究科	
看護学研究科	学部庶務課（人間共生学部、栄養学部、教育学部、看護学部） (金沢八景キャンパス：図書館棟1階)
- (4) 試験開始20分前までに着席してください。
- (5) 各試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験を認めません。

### 特別な配慮が必要な方へ

本学は、身体に障がいがある場合でも受験の機会が得られるよう、できる限り配慮します。ただし、障がいの状況等によっては、受験及び就学が不可能な場合もありますので、必ず出願締め切りの1ヶ月前までにアドミッションズセンターへ申し出てください。また、受験の特別措置として、別室受験、補助器具の使用、試験時間の延長等を行うことがあります。

### 感染症に関する注意事項

試験当日、学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則の規定による新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘等）にかかり、治癒等による出席停止の期間が経過していない受験生は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合は、入学検定料を返還します（追試験等の特別倒置は行いません）。

入学検定料の返還については、本学ホームページ「受験生サイト」にてご確認ください。

## 7. 「UCARO」の登録について

大学院入試では、受験票発行から入学手続まで、受験生が利用するシステムを集約した受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。「UCARO」とは、会員登録（無料）をすると、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続をWeb上で行うことができるシステムです。「UCARO」の会員登録については以下の手順を参照してください。



### 会員登録

- (1) 「UCARO」(<https://www.ucaro.net/>) にスマートフォンまたはパソコンからアクセスしてください。
- (2) 新規会員登録のページから以下の手順で会員登録を行ってください。



### 【備考】

- ・すでに「UCARO」会員登録した方は、同じID・パスワードでログインし、「お気に入り大学」に関東学院大学を設定してください。

「UCARO」は株式会社ODKソリューションズが提供するサービスです。  
個人情報の取り扱いについては「UCARO」にて確認してください。  
また、「UCARO」の使用方法などで、不明点がある場合には、  
下記にお問い合わせください。

**「UCARO」お問い合わせ窓口TEL.03-5952-2114  
10:00~18:00**

## 8. 出願連携について

「UCARO」で受験票（PDF）の発行や合否確認を行うために、「UCARO」に会員登録後、「出願連携」を行なう必要があります。出願連携を行うには、志願票に記載されている「出願番号」が必要ですので、必ず控えておいてください。

「出願連携」は「UCARO」にログインして、下記の手順で行ってください。

「UCARO」(<https://www.ucaro.net/>)

出願連携は、下記の日時以降に行ってください。  
 ○8月募集：9月6日(火)午前10時  
 ○1月募集：2月6日(月)午前10時

### 出願連携の手順

「UCARO」トップページのメニュー(右上「≡」を押し展開)から【出願連携】を選択します。

個人情報を入力。(志願票に記載した内容と同内容を入力してください\*)

出願媒体は「紙出願」を、出願大学は「関東学院大学」を選択します。

「出願番号または受験番号」欄に「出願番号」を入力すると、「出願連携」が完了します。

\*電話番号は志願票の「電話番号（自宅）」欄に記入した番号を入力してください。ただし、当該欄に記入していない場合は「電話番号（携帯）」の欄に記入した番号を入力してください。

## 9. 受験票（受験番号）の発行

受験票は「UCARO」のマイページ「受験一覧」にて各自ダウンロードしてください。

A4サイズで印刷し、試験当日に必ず持参してください。

自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用して印刷してください。

### 受験票ダウンロード開始日時

8月募集：9月6日(火)午前10時

1月募集：2月6日(月)午前10時

※受験票ダウンロード後、記載内容を確認してください。万一誤り等がありましたら、受験日より前にアドミッションズセンターまで連絡してください。

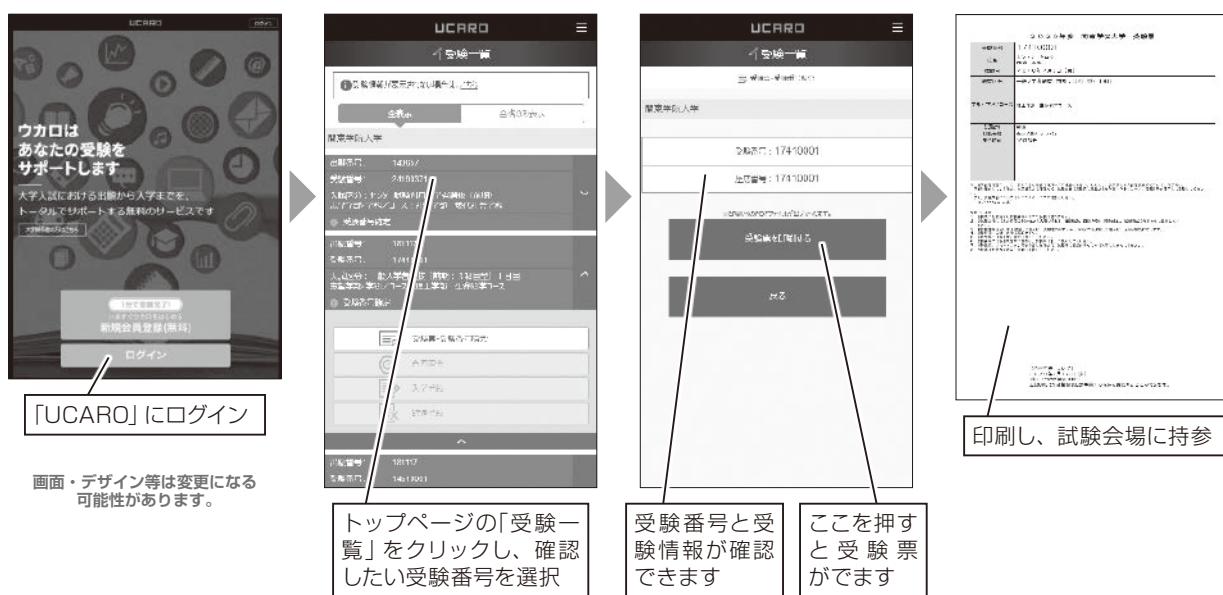
ただし、本人の記載の誤りによる出願内容の変更は一切認めませんのでご注意ください。

※受験票の漢字氏名については原則、JIS「第1・第2水準」に基づき、本学の電算処理上、表記できない文字を新字体に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。あらかじめご了承ください。

※受験票は、合格発表時まで大切に保管してください。

### 「UCARO」での受験票印刷方法

受験番号・受験情報の確認・受験票の印刷は、「UCARO」(<https://www.ucaro.net/>)にアクセスして行ってください。



## 10. 合格発表

受験ポータルサイト「UCARO」で合否を確認することができます。

「UCARO」にログインのうえ、メニューの「受験一覧」から「合否照会」を選択して各自で合否を確認してください。

### 合格発表日

8月募集：10月7日(金) 午前10時～  
1月募集：3月3日(金) 午前10時～

注] 本学への電話等による合否に関する直接の問い合わせには一切応じません。また、キャンパス内の掲示による発表や通知書類の郵送は行いません。

### インターネットによる合否照会サービス

合否の確認は、「UCARO」(<https://www.ucaro.net/>) にアクセスして、照会してください。合格発表日の午前10時から照会できます。



「UCARO」にログイン

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。



トップページの「受験一覧」をクリックし、確認したい受験番号の「合否照会」を選択



合否の結果が確認できます

「振込用紙を印刷する」をクリックし、振込用紙を印刷

## 11. 入学手続

◎入学手続時も、引き続き受験ポータルサイト「UCARO」を使用します。入学手続の詳細は、入学手続要項（「UCARO」の入学手続サイト（合格者のみ閲覧可））を確認してください。本学より手続書類の郵送は行いません。

入学手続期間に、手続を行わない場合、入学資格を失いますので、ご注意ください。

### 入学手続期間

8月募集	[入学金納入期間] 10月7日(金)～10月21日(金) [春学期学費及びその他諸納金納入期間] 10月7日(金)～2023年1月6日(金)
1月募集	[入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間] 3月3日(金)～3月10日(金)

注1] 入学手続完了後、入学を辞退する場合は、**2023年3月31日(金)16:00**までに入学辞退の手続をした者に限り、入学時納入金のうち入学金を除いた金額を返還します。詳細は、入学手続要項で確認してください。

注2] 卒業または修了見込みの者で、2023年3月までに卒業または修了できなかった場合は、合格取り消しとなり、入学資格を失います。

注3] 本学出身者は、卒業（修了）証明書を提出する必要はありません。

### 〈寄付金について〉

入学時に寄付金・学債の募集は行いません。ただし、入学後任意の寄付金募集のご案内をすることがあります。

### 関東学院大学における個人情報保護について

出願に際して関東学院大学にお知らせいただいた住所、氏名その他個人情報は、  
本学の個人情報保護に関する規定に則り、  
大学入試事務の範囲内においてのみ利用いたします。

関東学院における個人情報保護の取り組みについて

<https://www.kanto-gakuin.ac.jp/>

**関東学院大学（大学院）**  
**2023年度入学生初年度学費及びその他諸納金**

(単位 円)

研究科 費目	文学研究科		経済学研究科		法学研究科		工学研究科		看護学研究科		納入方法等	
	博士前期 課程	博士後期 課程	博士前期 課程	博士後期 課程	博士前期 課程	博士後期 課程	博士前期 課程	博士後期 課程	修士課程			
学 費	入 学 金		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		授業料、施設費、実験実習費及び学会費は4月と10月とに2分の1ずつ納入	
	授 業 料		500,000	610,000	500,000	610,000	500,000	610,000	580,000	730,000		
	施 設 費		62,000		62,000		62,000		82,000			
	実 験 実 習 費		——		——		——		120,000			
諸 納 金	学 会 費		10,000		9,000		6,000		7,000		6,000	
	学生教育研究 災害傷害保険料		※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620		
委 託 微 取 金	同窓会費		※(2) 60,000		※(2) 60,000		※(2) 60,000		※(2) 60,000			
合 計	入 学 時 納 入 金 額		438,430	494,620	437,930	494,120	436,430	492,620	546,930	623,120	666,930	10月25日までに納入
	1 年 次 10 月 納 入 金 額		286,000	341,000	285,500	340,500	284,000	339,000	394,500	469,500	514,500	
合 計		724,430	835,620	723,430	834,620	720,430	831,620	941,430	1,092,620	1,181,430		

## 〔注〕

1. 本学大学院修士課程若しくは博士前期課程又は法務研究科を修了した者が、他の研究科を含む博士後期課程に進学した場合は、入学金を必要としない。
2. 本学学部を卒業した者又は本学専攻科を修了した者が、大学院修士課程若しくは博士前期課程又は博士後期課程に入学した場合は、入学金を3分の1とする。
3. 本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了した者が、他の研究科(専攻を含む)修士課程又は博士前期課程に再び入学した場合は、入学金を2分の1とする。
4. 授業料、施設費、実験実習費及び学会費は、4月と10月とに2分の1ずつ納入するものとする。
5. ※(1)印は、入学時の納入とし、翌年度以降は納入不要とする。
6. ※(2)印は、2年次4月に全額を納入するものとし、休学等の理由により4月末まで秋学期に復学する場合は、10月に全額を納入するものとする。
7. 本学学部を卒業した者又は本学専攻科若しくは本学大学院修士課程若しくは本学大学院博士前期課程を修了した者は、同窓会費の納入は不要とする。
8. 上記学費・諸納金以外に入学時の寄付金・学債は、徴収しない。ただし、入学後任意の寄付金を募集することがあります。
9. 在学中の学費は、社会情勢等の変化に応じて、改定する場合がある。

## 長期履修学生制度について

### 1. 制度の概要

長期履修学生制度とは、学生が、**職業を有している等の事情**により標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

たとえば、2年間で修了するためには、1週間に数回（日）の登校が必要になるところを、3年または4年計画で1週間あたりの登校を減らして、計画的に履修し、仕事との両立を図りながら修了を目指すことができます。

なお、この制度は、**単位の修得状況や学位論文の審査過程による修了が延期となる（いわゆる留年）者**を救済するものではありません。また、療養、出産、海外留学等一定の期間履修することができない場合には、**長期履修学生制度ではなく、休学の対象となります。**

### 2. 対象者

職業を有している者または長期履修が必要となる相当の理由を有する者を対象とします。

### 3. 長期履修期間

在学年限（博士前期課程・修士課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

### 4. 授業料・施設費（工学研究科、看護学研究科は実験実習費も含む）

文学研究科 経済学研究科 法学研究科	通常の授業料・施設費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限
工学研究科 看護学研究科	通常の授業料・施設費・実験実習費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限

長期履修期間を終了してもなお修了できずに在学する場合の授業料・施設費・実験実習費の額は、通常の授業料・施設費・実験実習費の額と同額になります。

### 5. 申請の時期

入学を希望する者については出願期間内とします。

在学生は、適用を受けようとする前年度の1月末日とします。

したがって在学生のうち最終年次に在学する者は申請できません。

### 6. 申請書類

申請時には、次の書類が必要となります。

- (1) 長期履修申請書（本要項とじ込みの用紙を使用すること）
- (2) 長期履修計画書（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項とじ込みの長期履修計画書を使用すること）
- (3) 長期履修が必要であることを証明する書類（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項とじ込みの在職証明書を使用すること）
- (4) その他、学長が必要と認める書類

※上記(2)(3)の様式については、アドミッションズセンター（Tel.045-786-7019）にご相談ください。

### 7. 採用可否の通知

長期履修としての採用可否の通知は、大学院入試の合格発表とは別に通知します。

### 8. 長期履修期間の変更

長期履修期間中に、修業環境の変化等により必要が生じた場合には、1回に限り長期履修期間の変更（短縮または延長）を申請することができます。この場合の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）は、在学期間と長期履修期間に応じ、修了までに「通常の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）の年額×標準修業年限」の合計額が納入されるよう再計算します。

## 1. 募集人數

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
文学研究科	英語英米文学専攻	8	3
	比較日本文化専攻	8	2
	社会学専攻	8	2

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験（博士前期課程：社会学専攻のみ）、外国人留学生入学試験、英語検定有資格者特別入学試験（博士前期課程：英語英米文学専攻のみ）で募集します。

## 2. 出願資格

### 【博士前期課程】

#### (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

#### (2) 学内推薦入学試験

- ① 本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ② 本学を卒業後、5年以内の者で、研究意欲及び人物ともに優れ、出願に先立って在学時の所属学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

#### (3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、職務経験書を提出できる者〔ただし、大学卒業後1年以上経過した者もしくは満25歳に達した者で、在職経験のある者または現在在職している者（家事専従者を含む）〕

#### (4) 社会人推薦入学試験（社会学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、地方自治体等の公的機関、学校教育法に基づく教育機関、医療法人または社会福祉法人等に勤務し、所属する当該機関の長により推薦された者

#### (5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

#### (6) 英語検定有資格者特別入学試験（英語英米文学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの資格を有していること

- ① TOEFL ITP550点以上（iBT79点以上）
- ② 英検準1級以上
- ③ TOEIC（L&R）800点以上

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

**【博士後期課程】****(1) 一般入学試験**

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

**(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

本学文学研究科博士前期課程を修了後5年以内の者、または修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

**(3) 社会人入学試験**

## ・英語英米文学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者で、原則として志望する専攻またはそれに関連ある修士の学位を有する者

## ・比較日本文化専攻、社会学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者

**(4) 外国人留学生入学試験**

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、日本語を第一言語としていないこと [※社会学専攻のみ]）

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

**3. 事前協議**

博士前期課程志望者及び博士後期課程志望者は、出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」（本要項とじ込みの用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）、博士後期課程を希望する者は加えて修士学位論文（またはこれに準ずるもの）の写し1部と研究計画書（本要項とじ込みの用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）を以下の申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）については、事前協議を行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月4日（月）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月5日（月）		

#### 4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

【博士前期課程】(※印は巻末にとじ込みの用紙)

出願書類		備考
1	志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真(2枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	成績証明書	注1、3]
5	卒業証明書もしくは卒業見込証明書または学位授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見込み)証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類
6	※研究計画書	
7	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
8	※推薦状	社会人推薦入学試験(社会学専攻)で受験する者のみ提出 在職する機関の長の推薦状
9	資格取得証明書	英語検定有資格者特別入学試験(英語英米文学専攻)で受験する者、及び一般入学試験の試験科目「外国語」(比較日本文化専攻)、「英語」(社会学専攻)の免除を希望する者のみ該当する資格試験に関する証明書を提出(写し可)
10	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程】(※印は巻末にとじ込みの用紙)

出願書類		備考
1	志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真(2枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2]
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または修了見込証明書	注1、2]
6	修士学位論文またはそれに準ずるもの	写し1部及び要旨3部
7	※研究計画書	
8	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
9	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者(見込み含む)は不要

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

## 5. 選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、面接、提出された書類を総合して行います。
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者については、(1)に加えて、日本語の能力を判定するために論文試験あるいは面接試験を課すことがあります。[対象：英語英米文学専攻、比較日本文化専攻 博士前期課程、社会学専攻 一般入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験（社会学専攻のみ）]

## 6. 試験科目及び試験時間割

### 【博士前期課程】

#### (1) 英語英米文学専攻

##### ① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	100点	9:00～10:00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10:20～11:50 (90分)	出願時に英米文学、英語学（英語教育学を含む）より いずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	一	13:30～	研究計画書に基づく口頭試問

##### ② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30～	研究計画書に基づく口頭試問

##### ③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10:20～11:50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文 (辞書使用不可)
面接	一	13:30～	研究計画書に基づく口頭試問

##### ④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9:00～10:00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10:20～11:50 (90分)	出願時に英米文学、英語学（英語教育学を含む）より いずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	一	13:30～	研究計画書に基づく口頭試問

##### ⑤ 英語検定有資格者特別入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30～	研究計画書に基づく口頭試問

## (2) 比較日本文化専攻

### ① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外 国 語	100点	9:00~10:00 (60分)	出願時に英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から第一言語を除く1科目を選択 (辞書使用可。ただし、電子辞書を除く) 以下の外国語について、所定の能力資格を有する者は、 外国語を免除する。 英語 ①TOEFL ITP550点以上 (iBT79点以上) ②TOEIC (L&R) 730点以上 中国語 ①中国語検定3級以上 ②HSK 4級以上 ドイツ語 ①独検準1級以上 ②Goethe-Zertifikat B2以上 フランス語 ①仏検準1級以上 ②DELF B2以上 韓国語・朝鮮語 ①ハングル能力試験準2級以上 ②韓国語能力試験4級以上
専攻科目	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

### ② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

### ③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

### ④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

(別表①) 比較日本文化専攻 博士前期課程 試験科目(分野)表

分野			
文化論 文化史 欧美史学		思想 東アジア 日本語	

**(1) 社会学専攻****① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	英語辞書使用可。ただし、電子辞書を除く 以下のいずれかに該当する者は、英語を免除する。 ① TOEFL ITP550点以上 (iBT79点以上) ② TOEIC (L&R) 730点以上
専攻科目	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に社会学、社会福祉学よりいずれか1科目を選択
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**③ 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	出願時に社会学、社会福祉学よりいずれか1科目を選択
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**④ 社会人推薦入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**⑤ 外国人留学生入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**【博士後期課程】**

**(1) 英語英米文学専攻**

**① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
専攻科目	200点	10：20～12：20 (120分)	出願時に英米文学、英語学（英語教育学を含む）より いずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	一	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**③ 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10：20～11：50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文 (辞書使用不可)
面接	一	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

**④ 外国人留学生入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に英米文学、英語学（英語教育学を含む）より いずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	一	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

**(2) 比較日本文化専攻**

**① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9：00～10：00 (60分)	出願時に英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から第一言語を除く1科目を選択 (辞書使用可。ただし、電子辞書を除く)
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」(次頁)から1分野を選択
面接	一	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**(3) 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」から1分野を選択
面接	一	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**(4) 外国人留学生入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」から1分野を選択
面接	一	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

(別表②) 比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表

分野	
比	較 文 化
文	化 史 学
文	ア ジ ア
東	キ リ ス ト 教 史
欧	米 文 化
日	本 語

**(3) 社会学専攻**

**① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	英語辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
専攻科目	150点	10:20~11:50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	一	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**(3) 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	英語辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	一	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

**(4) 外国人留学生入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	一	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

**7. 試験場 (P. 98、99参照)**

関東学院大学 金沢文庫キャンパス

〒236-8502 横浜市金沢区釜利谷南3-22-1 045(786)7179 (代表)

# ◎ 文 学 研 究 科 授 業 科 目 表

【博士前期課程】

英語英米文学専攻

(2022年度実績)

分類	科 目 名	単位数	配当年次	担 当 者	研究指導
選群 択必 修科 目群	英文学研究 I - 1 (英國小説)	2	1・2	教授 松村聰子	○
	英文学研究 I - 2 (英國小説)	2	1・2	教授 松村聰子	○
	英文学研究 II - 1 (中世英文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学研究 II - 2 (中世英文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学研究 III - 1 (イギリス詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学研究 III - 2 (イギリス詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	米文学研究 I - 1 (アメリカ詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	米文学研究 I - 2 (アメリカ詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	米文学研究 II - 1 (アメリカ小説)	2	1・2	教授 入江識元	○
	米文学研究 II - 2 (アメリカ小説)	2	1・2	教授 入江識元	○
	英語学研究 I - 1 (英語教育)	2	1・2	教授 吉田広毅	○
	英語学研究 I - 2 (英語教育)	2	1・2	教授 吉田広毅	○
	英語学研究 II - 1 (語用論・認知言語学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学研究 II - 2 (語用論・認知言語学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学研究 III - 1 (音声学)	2	1・2	教授 平坂文男	○
	英語学研究 III - 2 (音声学)	2	1・2	教授 平坂文男	○
	英語学研究 IV - 1 (意味論・統語論)	2	1・2	教授 大橋一人	○
	英語学研究 IV - 2 (意味論・統語論)	2	1・2	教授 大橋一人	○
B	英文学演習 I - 1 (英國小説)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学演習 I - 2 (英國小説)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学演習 II - 1 (中世英文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学演習 II - 2 (中世英文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学演習 III - 1 (イギリス詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英文学演習 III - 2 (イギリス詩)	2	1・2	(2022年度休講)	
	米文学演習 I - 1 (アメリカ詩)	2	1・2	教授 アランボツフォード	○
	米文学演習 I - 2 (アメリカ詩)	2	1・2	教授 アランボツフォード	○
	米文学演習 II - 1 (アメリカ小説)	2	1・2	(2022年度休講)	
	米文学演習 II - 2 (アメリカ小説)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学演習 I - 1 (英語教育)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学演習 I - 2 (英語教育)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学演習 II - 1 (語用論・認知言語学)	2	1・2	教授 草山学	○
	英語学演習 II - 2 (語用論・認知言語学)	2	1・2	教授 草山学	○
	英語学演習 III - 1 (意味論・統語論)	2	1・2	(2022年度休講)	
	英語学演習 III - 2 (意味論・統語論)	2	1・2	(2022年度休講)	

分類	科目名	単位数	配当年次	担当者	研究指導
選択必修科目群	英 国 戯 曲 特 論 I	2	1・2	(2022年度休講)	
	英 国 戏 曲 特 論 II	2	1・2	(2022年度休講)	
	英 米 批 評 文 学 特 論 I	2	1・2	(2022年度休講)	
	英 米 批 評 文 学 特 論 II	2	1・2	(2022年度休講)	
	ア メ リ カ 詩 特 論 I	2	1・2	(2022年度休講)	
	ア メ リ カ 詩 特 論 II	2	1・2	(2022年度休講)	
	現 代 ア メ リ カ 文 学 特 論	2	1・2	(2022年度休講)	
	イ ギ リ ス 小 説 特 論	2	1・2	教 授 松 村 聰 子	○
	ア メ リ カ 小 説 特 論	2	1・2	教 授 入 江 譲 元	○
	言 語 文 化 論	2	1・2	(2022年度休講)	
	社 会 言 語 学	2	1・2	(2022年度休講)	
	英 語 教 育 特 論 I	2	1・2	講 師 満 尾 貞 行	
	英 語 教 育 特 論 II	2	1・2	講 師 満 尾 貞 行	
	英 文 法 特 論	2	1・2	教 授 大 橋 一 人	○
	英 語 意 味 論 特 論	2	1・2	教 授 草 山 学	○
	英 語 教 育 学 特 論 I	2	1・2	(2022年度休講)	
	英 語 教 育 学 特 論 II	2	1・2	(2022年度休講)	
	English Communication	2	1・2	講 師 ジョフ ブラッドリー	
	The sisis Writing	2	2	教 授 ジョセフ T.マキーム	

## 【修了要件】

- ア 入学の際、3専攻分野「英文学、米文学、英語学（英語教育学を含む）」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士前期課程】  
比較日本文化専攻

(2022年度実績)

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
選群	比較日本文化研究 I - 1 (文化論)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化研究 I - 2 (文化論)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化研究 II - 1 (文化史)	2	1・2	准教授 西尾知己	○
	比較日本文化研究 II - 2 (文化史)	2	1・2	准教授 西尾知己	○
	比較日本文化研究 III - 1 (欧米史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化研究 III - 2 (欧米史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 I - 1 (文学)	2	1・2	教授 富岡幸一郎	○
	日本文化研究 I - 2 (文学)	2	1・2	教授 富岡幸一郎	○
	日本文化研究 II - 1 (思想)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 II - 2 (思想)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 III - 1 (近世文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 III - 2 (近世文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 IV - 1 (日本語学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化研究 IV - 2 (日本語学)	2	1・2	(2022年度休講)	
必修	日本周辺文化研究 I - 1 (中国)	2	1・2	教授 鄧捷	○
	日本周辺文化研究 I - 2 (中国)	2	1・2	教授 鄧捷	○
	日本周辺文化研究 II - 1 (朝鮮)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本周辺文化研究 II - 2 (朝鮮)	2	1・2	(2022年度休講)	
修科目群	比較日本文化演習 I - 1 (文化論)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化演習 I - 2 (文化論)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化演習 II - 1 (文化史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化演習 II - 2 (文化史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	比較日本文化演習 III - 1 (欧米史)	2	1・2	教授 君塚直隆	○
	比較日本文化演習 III - 2 (欧米史)	2	1・2	教授 君塚直隆	○
	日本文化演習 I - 1 (文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化演習 I - 2 (文学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本文化演習 II - 1 (思想)	2	1・2	准教授 高井啓介	○
	日本文化演習 II - 2 (思想)	2	1・2	准教授 高井啓介	○
	日本文化演習 III - 1 (近世文学)	2	1・2	教授 井上和人	○
	日本文化演習 III - 2 (近世文学)	2	1・2	教授 井上和人	○
	日本文化演習 IV - 1 (日本語学)	2	1・2	教授 伊藤健人	○
	日本文化演習 IV - 2 (日本語学)	2	1・2	教授 伊藤健人	○
	日本周辺文化演習 I - 1 (中国)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本周辺文化演習 I - 2 (中国)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本周辺文化演習 II - 1 (朝鮮)	2	1・2	(2022年度休講)	
	日本周辺文化演習 II - 2 (朝鮮)	2	1・2	(2022年度休講)	

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
選択必修科目群C	比較言語特講 I	2	1・2	教授 草山 学	
	比較言語特講 II	2	1・2	教授 草山 学	
	文化人類学特講 I	2	1・2		(2022年度休講)
	文化人類学特講 II	2	1・2		(2022年度休講)
	比較文化特講（外交史・横浜文化論）I	2	1・2	講師 後田多 敦	
	比較文化特講（外交史・横浜文化論）II	2	1・2	講師 後田多 敦	
	英書文献解題特講 I	2	1・2		(2022年度休講)
	英書文献解題特講 II	2	1・2		(2022年度休講)
	日本古典文化特講 I	2	1・2	講師 緑川 真知子	
	日本古典文化特講 II	2	1・2	講師 緑川 真知子	
	日本語学特講 I	2	1・2	講師 新居田 純野	
	日本語学特講 II	2	1・2	講師 新居田 純野	
	アジア社会文化論特講	2	1・2		(2022年度休講)
	アジア政治文化論特講 I	2	1・2		(2022年度休講)
	アジア政治文化論特講 II	2	1・2		(2022年度休講)
	国際社会システム論特講 I	2	1・2		(2022年度休講)
	国際社会システム論特講 II	2	1・2		(2022年度休講)
	国語学論特講 I	2	1・2	教授 伊東光浩	
	国語学論特講 II	2	1・2	教授 伊東光浩	
	比較ドイツ文化特講 I	2	1・2	教授 佐藤茂樹*	
	比較ドイツ文化特講 II	2	1・2	教授 佐藤茂樹*	
	中国古代文化特講 I	2	1・2	准教授 菅野恵美	
	中国古代文化特講 II	2	1・2	准教授 菅野恵美	

**【修了要件】**

- ア 入学の際、8専攻分野「文化論、文化史、欧米史、文学、思想、中国、朝鮮、日本語」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

\*2023年3月定年退職予定

## 【博士前期課程】

## 社会学専攻

(2022年度実績)

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
選択必修科目	社会学研究 I - 1 (社会学史)	2	1・2	教授 大澤善信	○
	社会学研究 I - 2 (社会学史)	2	1・2	教授 大澤善信	○
	社会学研究 II - 1 (産業労働)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 II - 2 (産業労働)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 III - 1 (地域社会計画)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 III - 2 (地域社会計画)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 IV - 1 (社会心理)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 IV - 2 (社会心理)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 V - 1 (環境社会学)	2	1・2	教授 湯浅陽一	○
	社会学研究 V - 2 (環境社会学)	2	1・2	教授 湯浅陽一	○
	社会学研究 VI - 1 (都市文化)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学研究 VI - 2 (都市文化)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学研究 I - 1 (高齢者福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学研究 I - 2 (高齢者福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学研究 II - 1 (障害学)	2	1・2	教授 麦倉泰子	○
	社会福祉学研究 II - 2 (障害学)	2	1・2	教授 麦倉泰子	○
	社会福祉学研究 III - 1 (地域福祉)	2	1・2	教授 山口稔*	○
	社会福祉学研究 III - 2 (地域福祉)	2	1・2	教授 山口稔*	○
選択必修科目	社会学演習 I - 1 (社会学史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 I - 2 (社会学史)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 II - 1 (産業労働)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 II - 2 (産業労働)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 III - 1 (地域社会計画)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 III - 2 (地域社会計画)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 IV - 1 (社会心理)	2	1・2	教授 新井克弥	○
	社会学演習 IV - 2 (社会心理)	2	1・2	教授 新井克弥	○
	社会学演習 V - 1 (都市文化)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 V - 2 (都市文化)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 VI - 1 (環境社会学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会学演習 VI - 2 (環境社会学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 I - 1 (高齢者福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 I - 2 (高齢者福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 II - 1 (障害学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 II - 2 (障害学)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 III - 1 (地域福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 III - 2 (地域福祉)	2	1・2	(2022年度休講)	
	社会福祉学演習 IV - 1 (児童家庭福祉)	2	1・2	教授 潤谷昌史	○
	社会福祉学演習 IV - 2 (児童家庭福祉)	2	1・2	教授 潤谷昌史	○

※このページの選択必修科目「B群」の科目名（下線部分）について、一部修正しております。

配布している募集要項と一部相違があります。

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導	
選択必修科目群C	社会学特講I（外書講読）	2	1・2	准教授 上野淳子	○ ○ ○	
	社会学特講II（原典講読）	2	1・2	准教授 小山弘美		
	社会福祉学特講I（障害者福祉）	2	1・2	教授 麦倉泰子		
	社会福祉学特講II（外書講読）	2	1・2	教授 西村貴直		
	社会福祉学特講III（児童家庭福祉）	2	1・2	(2022年度休講)		
	社会福祉学特講IV（NPO論）	2	1・2	講師 山田秀昭		
	社会人類学特講	2	1・2	(2022年度休講)		
	図書館情報学特講	2	1・2	教授 中村克明		
	公学校図書館論	2	1・2	教授 中村克明		
	図書館情報メディア論	2	1・2	教授 千錫烈		
教養学特講	教育学特講	2	1・2	教授 久保田英助	○	
	教育実践学特講	2	1・2	教授 久保田英助		

**【修了要件】**

- ア 入学の際、2専攻分野「社会学、社会福祉学」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※2023年3月定年退職予定

## 【博士後期課程】

## 英語英米文学専攻

(2022年度実績)

科 目 名		単位	配当年次	担 当 者	研究指導
A 群	英米文学特殊研究 I - 1 (英国小説)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 I - 2 (英国小説)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 II - 1 (イギリス詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 II - 2 (イギリス詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 III - 1 (中世英文学)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 III - 2 (中世英文学)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 IV - 1 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 IV - 2 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊研究 V - 1 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	教 授 アラン ボツフォード	○
	英米文学特殊研究 V - 2 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	教 授 アラン ボツフォード	○
	英語学特殊研究 I - 1 (英語学・英語史)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英語学特殊研究 I - 2 (英語学・英語史)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英語学特殊研究 II - 1 (音声学)	2	1-3	教 授 平 坂 文 男	○
	英語学特殊研究 II - 2 (音声学)	2	1-3	教 授 平 坂 文 男	○
	英語学特殊研究 III - 1 (英語学・英語教育)	2	1-3	教 授 吉 田 広 育	○
	英語学特殊研究 III - 2 (英語学・英語教育)	2	1-3	教 授 吉 田 広 育	○
	英語学特殊研究 IV - 1 (語用論・認知言語学)	2	1-3	教 授 草 山 学	○
	英語学特殊研究 IV - 2 (語用論・認知言語学)	2	1-3	教 授 草 山 学	○
B 群	英米文学特殊講義 I - 1 (英国小説)	2	1-3	教 授 松 村 聰 子	
	英米文学特殊講義 I - 2 (英国小説)	2	1-3	教 授 松 村 聰 子	
	英米文学特殊講義 II - 1 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊講義 II - 2 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊講義 III - 1 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊講義 III - 2 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英米文学特殊講義 IV - 1 (20世紀アメリカ小説)	2	1-3	教 授 入 江 識 元	
	英米文学特殊講義 IV - 2 (20世紀アメリカ小説)	2	1-3	教 授 入 江 識 元	
	英語学特殊講義 I - 1 (意味論・統語論)	2	1-3	教 授 大 橋 一 人	
	英語学特殊講義 I - 2 (意味論・統語論)	2	1-3	教 授 大 橋 一 人	
	英語学特殊講義 II - 1 (英語学・英語教育)	2	1-3	教 授 吉 田 広 育	○
	英語学特殊講義 II - 2 (英語学・英語教育)	2	1-3	教 授 吉 田 広 育	○
	英語学特殊講義 III - 1 (語用論・認知言語学)	2	1-3	(2022年度休講)	
	英語学特殊講義 III - 2 (語用論・認知言語学)	2	1-3	(2022年度休講)	

## 比較日本文化専攻

(2022年度実績)

科 目 名		単位	配当年次	担 当 者	研究指導
A 群	比較日本文化特殊研究 I - 1 (比較文化)	2	1-3	教 授 富 岡 幸一郎	○
	比較日本文化特殊研究 I - 2 (比較文化)	2	1-3	教 授 富 岡 幸一郎	○
	比較日本文化特殊研究 II - 1 (文化史)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊研究 II - 2 (文化史)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊研究 III - 1 (文学)	2	1-3	教 授 井 上 和 人	○
	比較日本文化特殊研究 III - 2 (文学)	2	1-3	教 授 井 上 和 人	○
	比較日本文化特殊研究 IV - 1 (東アジア)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊研究 IV - 2 (東アジア)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊研究 V - 1 (キリスト教史)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊研究 V - 2 (キリスト教史)	2	1-3	(2022年度休講)	
B 群	比較日本文化特殊研究 VI - 1 (欧米文化)	2	1-3	教 授 君 塚 直 隆	○
	比較日本文化特殊研究 VI - 2 (欧米文化)	2	1-3	教 授 君 塚 直 隆	○
	比較日本文化特殊講義 I - 1 (東アジア)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊講義 I - 2 (東アジア)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊講義 II (アジア社会文化論)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊講義 III - 1 (日本近世文化)	2	1-3	(2022年度休講)	
	比較日本文化特殊講義 III - 2 (日本近世文化)	2	1-3	(2022年度休講)	
B 群	比較日本文化特殊講義 IV - 1 (日中比較文学)	2	1-3	教 授 鄧 捷	
	比較日本文化特殊講義 IV - 2 (日中比較文学)	2	1-3	教 授 鄧 捷	
	比較日本文化特殊講義 V - 1 (日本語学)	2	1-3	教 授 伊 藤 健 人	
	比較日本文化特殊講義 V - 2 (日本語学)	2	1-3	教 授 伊 藤 健 人	
	比較日本文化特殊講義 VI - 1 (キリスト教史)	2	1-3	准教授 高 井 啓 介	
	比較日本文化特殊講義 VI - 2 (キリスト教史)	2	1-3	准教授 高 井 啓 介	
	比較日本文化特殊講義 VII - 1 (文化史)	2	1-3	准教授 西 尾 知 己	
	比較日本文化特殊講義 VII - 2 (文化史)	2	1-3	准教授 西 尾 知 己	

科目名		単位	配当年次	担当者				研究指導
A群	社会学特殊研究Ⅰ-1 (社会学史)	2	1-3	教授 大澤善信				○
	社会学特殊研究Ⅰ-2 (社会学史)	2	1-3	教授 大澤善信				○
	社会学特殊研究Ⅱ-1 (地域社会計画)	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会学特殊研究Ⅱ-2 (地域社会計画)	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会学特殊研究Ⅲ-1 (社会心理)	2	1-3	教授 新井克弥				○
	社会学特殊研究Ⅲ-2 (社会心理)	2	1-3	教授 新井克弥				○
	社会学特殊研究Ⅳ-1 (環境社会学)	2	1-3	教授 湯浅陽一				○
	社会学特殊研究Ⅳ-2 (環境社会学)	2	1-3	教授 湯浅陽一				○
	社会学特殊研究Ⅴ-1	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会学特殊研究Ⅴ-2	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会福祉学特殊研究Ⅰ-1 (高齢者福祉)	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会福祉学特殊研究Ⅰ-2 (高齢者福祉)	2	1-3		(2022年度休講)			
	<削除>	<削除>	<削除>					
	<削除>	<削除>	<削除>					
B群	社会福祉学特殊研究Ⅲ-1 (障害学)	2	1-3	教授 麦倉泰子				○
	社会福祉学特殊研究Ⅲ-2 (障害学)	2	1-3	教授 麦倉泰子				○
	社会福祉学特殊研究Ⅲ-1 (地域福祉)	2	1-3	教授 山口稔*				○
	社会福祉学特殊研究Ⅲ-2 (地域福祉)	2	1-3	教授 山口稔*				○
	社会学特殊講義Ⅰ-1 (都市文化)	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会学特殊講義Ⅰ-2 (都市文化)	2	1-3		(2022年度休講)			
	図書館情報学特殊講義Ⅰ	2	1-3	教授 中村克明				
	図書館情報学特殊講義Ⅱ	2	1-3	教授 中村克明				
	図書館情報メディア特殊講義Ⅰ	2	1-3	教授 千錫烈				
	図書館情報メディア特殊講義Ⅱ	2	1-3	教授 千錫烈				
群	教育学特殊講義Ⅰ	2	1-3		(2022年度休講)			
	教育学特殊講義Ⅱ	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会福祉学特殊講義Ⅰ (高齢者福祉)	2	1-3		(2022年度休講)			
	社会福祉学特殊講義Ⅱ (援助技術)				(2022年度休講)			
	社会福祉学特殊講義Ⅱ-1 (児童家庭福祉)	2	1-3	教授 濵谷昌史				
	社会福祉学特殊講義Ⅱ-2 (児童家庭福祉)	2	1-3	教授 濵谷昌史				
	社会福祉学特殊講義Ⅲ (地域福祉)	2	1-3	教授 山口稔*				○
	社会福祉学特殊講義Ⅳ (質的調査法)	2	1-3		(2022年度休講)			

## 【修了要件】

- ① 授業科目の中から各年次最低2科目4単位（3年間で計12単位）以上を履修すること。  
なお、履修科目は原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。
- ② 授業科目の履修のほか、学位論文作成のため、指導教授を定め各自の研究主題に応じて指導を受けること。
- ③ 博士の学位を得ようとする者は、3年以上在学し、各専攻分野ともA群研究科目から6科目12単位以上、B群講義科目から2科目4単位以上を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。  
なお、3年次末に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、博士予備論文を提出しなければならない。

※2023年3月定年退職予定

※このページの「A群」の科目（下線部分）について、一部修正しております。  
配布している募集要項と一部相違があります。

# 3 経済学研究科(昼夜開講制)

## 1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
経済学研究科	経済学専攻	10	5
	経営学専攻	10	5

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

## 2. 出願資格

### 【博士前期課程】

#### (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

#### (2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

#### (3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること
- ③ 本研究科において、大学卒業後3年以上経過しかつ②に準ずると認めた者
- ④ 医療機関等において正看護師として5年以上の実務経験及び実践的な知見を有し、かつ、当該年度4月1日現在、満年齢が28歳に達する者

※出願資格④に該当する者は、出願に際し、個別出願資格認定を受けること

#### (4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後再資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

### 【博士後期課程】

#### (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

#### (2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学経済学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立つて当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

#### (3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

### 3. 事前協議

博士前期課程の外国人留学生入試に出願する者及び博士後期課程に出願する者は、出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」(本要項と同じ込みの用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出)、博士後期課程を希望する者は加えて、修士学位論文(写し1部)、または修士学位論文のない者はそれに代わる20,000字程度の論文(本人署名の学会投稿印刷論文でも可)を以下の申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。ただし、本研究科博士前期課程修了者(見込み含む)については、事前協議を行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月4日(月)	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月5日(月)		

#### 4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

【博士前期課程】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考
1	志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	成績証明書	注1、3]
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、 修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類
6	※研究計画書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
7	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
8	内諾書	外国人留学生入学試験で受験する者のみ提出 (志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの)

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 一般入学試験の志願者のうち、TOEFL ITP550点以上（TOEFL iBT79点以上）またはTOEIC（L&R）730点以上で英語の試験が免除となる者は、出願時に資格取得証明書（写し可）を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考
1	※志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2]
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2]
6	修士学位論文または それに代わる20,000字 程度の論文	写し1部及び要旨3部 本人署名の学会投稿印刷論文でも可
7	※研究計画書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
8	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
9	内諾書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

## 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

## 6. 試験科目及び試験時間割

### 【博士前期課程】

#### (1) 経済学専攻

##### ① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経済理論・経済学史、近代経済学、応用経済、経済史・世界経済の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。  ※本学の学部または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2023年3月卒業（修了）見込みの者は、専門科目の試験を免除する。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。（ただし、電子辞書を除く） ※TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上) または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

##### ② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

##### ③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経済理論・経済学史、近代経済学、応用経済、経済史・世界経済の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。  ※本学の学部または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2023年3月卒業（修了）見込みの者は、専門科目の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

##### ④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経済理論・経済学史、近代経済学、応用経済、経済史・世界経済の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。  ※本学の学部または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2023年3月卒業（修了）見込みの者は、専門科目の試験を免除する。
外国語	100点	11:20~12:20 (60分)	英語、日本語から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

## (2) 経営学専攻

### ① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経営学、経営情報、流通・マーケティング、会計学の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。(ただし、電子辞書を除く) ※ TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上)またはTOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

### ② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

### ③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経営学、経営情報、流通・マーケティング、会計学の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。 ※本学の学部または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2023年3月卒業（修了）見込みの者は、専門科目の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

### ④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	経営学、経営情報、流通・マーケティング、会計学の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
外国語	100点	11:20~12:20 (60分)	英語、日本語から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

**【博士後期課程】**

**(1) 経済学専攻**

**① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30~11:00 (90分)	経済理論・経済学史、近代経済学、応用経済、経済史・世界経済の4分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

**③ 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。ただし電子辞書を除く ※本学のいづれかの学部を卒業した者で、本学または他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有する者及び2023年3月までに取得見込みの者は、英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

**(2) 経営学専攻**

**① 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30~11:00 (90分)	経営学、経営情報、流通・マーケティング、会計学の4分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。ただし、電子辞書を除く
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

**② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

### ③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可。ただし電子辞書を除く ※本学のいずれかの学部を卒業した者で、本学または 他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有 する者及び2023年3月までに取得見込みの者は、英 語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

## 7. 試験場 (P. 98、99参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 045(786)7019 (アドミッションセンター)

# ◎ 経済学研究科授業科目表

【経済学専攻 博士前期課程】

A 群 (講義科目)

(2022年度実績)

分 野	講義種別	科 目 名	単位	配当年次	担 当 者	研究指導
経済理論・経済学史	特殊講義	経済理論 特殊講義	2	1-2	教授 谷野勝明*	○
		経済史 特殊講義	2	1-2	教授 石井穰(2022年度休講)	○
		社会科学論 特殊講義	2	1-2		
	特論	再生産・蓄積論 社会理論研究 古典型派資本蓄積論	2 2 2	1-2 1-2 1-2	教授 谷野勝明*(2022年度休講) (2022年度休講)	○
近代経済学	特殊講義	マクロ経済学 特殊講義	2	1-2	准教授 吟谷泰裕	○
		マクロ経済学 特殊講義	2	1-2	准教授 上代雄介	○
		理論経済学 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		現代経済学 特殊講義	2	1-2	教授 中泉拓也	○
		統計学 特殊講義	2	1-2	准教授 平野敏弘	
		情報報道処理論 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
	特論	情報報道経済論 特殊講義	2	1-2	准教授 野中康生	
		経済数学生 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		ゲームの理論研究 情報の一報の意思決定論 契約の経済理諭論 経済動力学の理論論 運動学的一般均衡理論 協力ゲームの理諭論 空間問題統計学	2 2 2 2 2 2 2	1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2	(2022年度休講) (2022年度休講) (2022年度休講) (2022年度休講) 准教授 吟谷泰裕 准教授 上代雄介 准教授 平野敏弘	○
		経済政策論 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
応用経済	特殊講義	財政理論 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		地方政府財政 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		国際金融論 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		労働経済論 特殊講義	2	1-2	教授 宮黒吉田千鶴(2022年度休講)	○ ○ ○
	特論	銀行マネジメント論 都市医療券投資論 家族と人口の経済学 貧困と不平等の経済学	2 2 2 2	1-2 1-2 1-2 1-2	(2022年度休講) (2022年度休講) 非常勤講師 金城悠貴 教授 黒川洋行 教授 吉田千鶴 (2022年度休講)	○ ○
		経済史 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		日本経済史 特殊講義	2	1-2	教授 名武なつ紀	○
		アメリカ経済論 特殊講義	2	1-2	教授 新岡智造	○
経済史・世界経済	特殊講義	国際経済学 特殊講義	2	1-2	准教授 山本勝造	○
		開発経済学 特殊講義	2	1-2	准教授 石坂貴美	○
	特論	グローバリゼーションの経済学 日本都市経済史 西洋都市経済史 国際政治経済の数理分析	2 2 2 2	1-2 1-2 1-2 1-2	(2022年度休講) 教授 名武なつ紀 (2022年度休講) 准教授 山本勝造	○ ○

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論 特殊講義	2	1-2	教授 林 博史 (2022年度休講)	○
		現代中国論 特殊講義	2	1-2	准教授 河内 春人	○
		前近代史 特殊講義	2	1-2	准教授 河内 春人	○
		ジエンドー論 特殊講義	2	1-2	教授 細谷 明	○
		メディア文化論 特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明	○
		自然地理学 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
		青少年問題の社会学 特殊講義	2	1-2	(2022年度休講)	
	特論	環境学 特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	
		金融技術論	2	1-2	(2022年度休講)	
		租税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
	特論	所得法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		法人税	2	1-2	非常勤講師 石渡 晃子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	(2022年度休講)	
		戦後日本中関係	2	1-2	(2022年度休講)	
		前近代の交易と東アジア	2	1-2	准教授 河内 春人	
		ジエンドーと経済思想	2	1-2	教授 細谷 明	○
		メディアと社会思想	2	1-2	教授 伊藤 明	○
		地理情報科学特論	2	1-2	(2022年度休講)	
		現代日本の若者と文化	2	1-2	(2022年度休講)	
		現地球環境学特論	2	1-2	准教授 田林 雄	

## B群(演習科目)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	演習I(経済理論)	4	1	教授 谷野 勝明*	○
	演習II(経済理論)	4	2	教授 谷野 勝明*	○
	演習I(経済史)	4	1	教授 石井 穣穂	○
	演習II(経済史)	4	2	教授 石井 穣穂	○
	演習I(社会科学論)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(社会科学論)	4	2	(2022年度休講)	
近代経済学	演習I(マクロ経済学)	4	1	准教授 吟谷 泰裕	○
	演習II(マクロ経済学)	4	2	准教授 吟谷 泰裕	○
	演習I(現代経済)	4	1	教授 中泉 拓也	○
	演習II(現代経済)	4	2	教授 中泉 拓也	○
	演習I(経済統計学)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(経済統計学)	4	2	(2022年度休講)	
	演習I(情報処理論)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(情報処理論)	4	2	(2022年度休講)	
	演習I(経済数学)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(経済数学)	4	2	(2022年度休講)	
	演習I(理論経済学)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(理論経済学)	4	2	(2022年度休講)	

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
応用経済	演習I（経済政策論）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（経済政策論）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（財政理論）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（財政理論）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（地方財政）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（地方財政）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（金融論）	4	1	教授 宮本守*	○
	演習II（金融論）	4	2	教授 宮本守*	○
	演習I（国際金融論）	4	1	教授 黒川洋行	○
	演習II（国際金融論）	4	2	教授 黒川洋行	○
	演習I（労働経済論）	4	1	教授 吉田千鶴	○
	演習II（労働経済論）	4	2	教授 吉田千鶴	○
経済史・世界経済	演習I（日本経済史）	4	1	教授 武名なつ紀	○
	演習II（日本経済史）	4	2	教授 武名なつ紀	○
	演習I（アメリカ経済論）	4	1	教授 新岡智	○
	演習II（アメリカ経済論）	4	2	教授 新岡智	○
	演習I（国際経済学）	4	1	准教授 山本勝造	○
	演習II（国際経済学）	4	2	准教授 山本勝造	○
共通	演習I（現代政治論）	4	1	教授 林博史	○
	演習II（現代政治論）	4	2	教授 林博史	○
	演習I（メディア文化論）	4	1	教授 伊藤明己	○
	演習II（メディア文化論）	4	2	教授 伊藤明己	○
	演習I（現代中国論）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（現代中国論）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（税法）	4	1	非常勤講師 長島弘	○
	演習II（税法）	4	2	非常勤講師 長島弘	○

### 経済学専攻履修方法

#### (1) A群（講義科目）

- ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
- ② ①の他に18単位以上。（以下のB群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む）

#### (2) B群（演習科目）

- ① 指導教授の演習I・II（各年次4単位）計8単位必修。
- ② ①の他に、分野を問わず演習Iの中から1科目4単位を履修することができる。  
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。

#### (3) C群（他専攻科目、他研究科科目及び他大学院科目）

以下の①から③までの科目を履修し修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②③の場合には、指導教授ならびに当該科目担当教員または当該大学の事前承認を得なければならない。

- ① 経営学専攻講義科目から4単位。
- ② 本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
- ③ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

※2023年3月定年退職予定

【経営学専攻 博士前期課程】

A 群 (講義科目)

(2022年度実績)

分 野	講義種別	科 目 名	単位	配当年次	担 当 者	研究指導
経 営 学	特殊 講義	経営史特論	2	1-2	教授 四宮正親	○
		経営学特論	2	1-2	(2022年度休講)	
		経営管理論	2	1-2	准教授 松下将章	○
		現代企業論	2	1-2	教授 小山嚴也	
		国際経営論	2	1-2	(2022年度休講)	
		経営組織論	2	1-2	准教授 吉村大吾	○
		経営財務論	2	1-2	教授 遠辺聖二	○
		経営戦略論	2	1-2	(2022年度休講)	
	特論	現代ツーリズム論	2	1-2	教授 才原清一郎	○
		スポーツ・マネジメント論	2	1-2	准教授 奈良堂史	○
		自動車産業史	2	1-2	教授 四宮正親	○
		工業経営論	2	1-2	(2022年度休講)	
		非営利組織の経営	2	1-2	(2022年度休講)	
		企業と社会	2	1-2	(2022年度休講)	
経 営 情 報	特殊 講義	企業評価	2	1-2	教授 遠辺聖二	○
		組織の経済	2	1-2	(2022年度休講)	
		イノベーション・マネジメント	2	1-2	(2022年度休講)	
		国際ビジネス	2	1-2	(2022年度休講)	
流通・マーケティング	特殊 講義	観光学	2	1-2	教授 才原清一郎	○
		プロスボーツビジネス	2	1-2	准教授 奈良堂史	○
		人材管理	2	1-2	准教授 吉村大吾	○
		組織における人間行動	2	1-2	准教授 松下将章	○
	特論	経営科学応用論	2	1-2	(2022年度休講)	
		意思決定論	2	1-2	教授 渡邊光一	○
		組織とIT経営	2	1-2	教授 荒川一彦	○
		コラボレーションシステム	2	1-2	教授 渡邊光一	○
会 計 学	特殊 講義	マーケティング論	2	1-2	教授 ナレッジワーク	○
		流通システム論	2	1-2	(2022年度休講)	
		消費者行動論	2	1-2	准教授 天野恵美子	○
		マーケティング・コミュニケーション論	2	1-2	教授 福田敦	○
		国際マーケティング論	2	1-2	准教授 佐藤志乃	○
	特論	現代流通論	2	1-2	(2022年度休講)	
		マーケティング論	2	1-2	准教授 岩崎達也	○
		流通システム論	2	1-2	教授 唐沢龍也	○
		消費者行動論	2	1-2	准教授 天野恵美子	○
		マーケティング・コミュニケーション論	2	1-2	教授 福田敦	○
		国際マーケティング論	2	1-2	准教授 佐藤志乃	○
	特殊 講義	会計学	2	1-2	(2022年度休講)	
		管理制度	2	1-2	教授 水谷文幸	○
		財務会計	2	1-2	教授 江頭幸代	○
		税務会計	2	1-2	(2022年度休講)	
		コストマネジメント	2	1-2	教授 越智仁夫	○
	特論	会計論	2	1-2	非常勤講師 野村智夫	○
		監査制度	2	1-2	教授 越智信	○
		国際会計	2	1-2	(2022年度休講)	
		ライフサイクル・コストティング	2	1-2	(2022年度休講)	
		民間非営利組織会計	2	1-2	准教授 水谷文宣	○
		キャパシティ・マネジメント	2	1-2	教授 山北晴雄	○
		地方財務会計	2	1-2	教授 江頭幸代	○

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論 特殊講義	2	1-2	教授 林 博史 (2022年度休講)	○
		現代中国論 特殊講義	2	1-2	准教授 河内 春人	○
		前近代史 特殊講義	2	1-2	教授 細谷 実己	○
		ジエンドー論 特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明	○
		メディア文化論 特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明 (2022年度休講)	○
		自然地理学 特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明 (2022年度休講)	○
		青少年問題の社会学 特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	○
	特論	環境学 特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	○
		金融技術論	2	1-2	(2022年度休講)	
		租税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		所得法	2	1-2	非常勤講師 菅沼 哲矢	
		法人税	2	1-2	非常勤講師 石渡 晃子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	(2022年度休講)	
		戦後日本中関係	2	1-2	(2022年度休講)	
		前近代の交易と東アジア経済	2	1-2	准教授 河内 春人	○
		ジエンドーと社会思想論	2	1-2	教授 細谷 実己	○
		地理情報報学科 特論	2	1-2	教授 伊藤 明 (2022年度休講)	○
		現代日本の若者と文化論	2	1-2	准教授 田林 雄 (2022年度休講)	○
		現地球環境学 特論	2	1-2	准教授 田林 雄	○

## B群(演習科目)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	演習I(経営史)	4	1	教授 四宮 正親	○
	演習II(経営史)	4	2	教授 四宮 正親	○
	演習I(経営学)	4	1		
	演習II(経営学)	4	2		
	演習I(経営管理論)	4	1		
	演習II(経営管理論)	4	2		
	演習I(現代企業論)	4	1	教授 小山 嶽也	○
	演習II(現代企業論)	4	2	教授 小山 嶽也	○
	演習I(国際経営論)	4	1		
	演習II(国際経営論)	4	2		
	演習I(経営組織論)	4	1	准教授 吉村 大吾	○
	演習II(経営組織論)	4	2	准教授 吉村 大吾	○
	演習I(経営財務論)	4	1	教授 辻達二	○
	演習II(経営財務論)	4	2	教授 辻達二	○
	演習I(経営戦略論)	4	1		
	演習II(経営戦略論)	4	2		
経営情報	演習I(現代ツーリズム)	4	1	教授 才原 清一郎	○
	演習II(現代ツーリズム)	4	2	教授 才原 清一郎	○
	演習I(スポーツ・マネジメント論)	4	1	准教授 奈良 堂史	○
	演習II(スポーツ・マネジメント論)	4	2	准教授 奈良 堂史	○
	演習I(経営科学応用論)	4	1	(2022年度休講)	
	演習II(経営科学応用論)	4	2	(2022年度休講)	
経営情報	演習I(意思決定論)	4	1	教授 渡邊光彦	○
	演習II(意思決定論)	4	2	教授 渡邊光彦	○
	演習I(組織とIT経営)	4	1	教授 渡邊光彦	○
	演習II(組織とIT経営)	4	2	教授 渡邊光彦	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
流通・マーケティング	演習I（現代流通論）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（現代流通論）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（マーケティング論）	4	1	准教授 天野 恵美子	○
	演習II（マーケティング論）	4	2	准教授 天野 恵美子	○
	演習I（流通システム論）	4	1	教授 福田 敦也	○
	演習II（流通システム論）	4	2	教授 福田 敦也	○
	演習I（マーケティング・コミュニケーション論）	4	1	教授 岩崎 達也	○
	演習II（マーケティング・コミュニケーション論）	4	2	教授 岩崎 達也	○
	演習I（国際マーケティング論）	4	1	准教授 唐沢 龍也	○
	演習II（国際マーケティング論）	4	2	准教授 唐沢 龍也	○
会計学	演習I（会計学）	4	1	准教授 水谷 文宣	○
	演習II（会計学）	4	2	准教授 水谷 文宣	○
	演習I（管理会計論）	4	1	教授 江頭 幸代	○
	演習II（管理会計論）	4	2	教授 江頭 幸代	○
	演習I（制度会計論）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（制度会計論）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（財務会計論）	4	1	教授 越智 仁	○
	演習II（財務会計論）	4	2	教授 越智 仁	○
	演習I（コストマネジメント論）	4	1	教授 山北 晴雄	○
	演習II（コストマネジメント論）	4	2	教授 山北 晴雄	○
共通	演習I（東アジア前近代史）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（東アジア前近代史）	4	2	(2022年度休講)	
	演習I（ジエンダー論）	4	1	教授 細谷 実	○
	演習II（ジエンダー論）	4	2	教授 細谷 実	○
	演習I（青少年問題の社会学）	4	1	(2022年度休講)	
	演習II（青少年問題の社会学）	4	2	(2022年度休講)	

### 経営学専攻履修方法

#### (1) A群（講義科目）

- ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
- ② ①の他に18単位以上。(B群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む)

#### (2) B群（演習科目）

- ① 指導教授の演習I・II（各年次4単位）計8単位必修。
- ② ①の他に、分野を問わず演習Iの中から1科目4単位を履修することができる。  
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。

#### (3) C群（他専攻科目、他研究科科目及び他大学院科目）

以下の①から③までの科目を履修し修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②③の場合には、指導教授ならびに当該科目担当教員または当該大学の事前承認を得なければならない。

- ① 経済学専攻講義科目から4単位。
- ② 本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
- ③ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

## 【経済学専攻 博士後期課程】

## 講義科目

(2022年度実績)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・ 経済学史	経済理論 特殊研究	4	1-3	教授 谷野勝明*	○
	社会科学論 特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	社会科学論 特殊研究	4	1-3	教授 石井穰	○
近代経済学	現代経済特殊研究	4	1-3	教授 中泉拓也	○
	経済統計学特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	経済數学特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	情報処理論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
応用経済	経済政策論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	財政理論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	地方財政特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	金融論特殊研究	4	1-3	教授 宮本守*	○
	国際金融論特殊研究	4	1-3	教授 黒川洋行	
経済史・世界経済	労働経済論特殊研究	4	1-3	教授 吉田千鶴	
	日本経済史特殊研究	4	1-3	教授 名武なつ紀	○
共通	アメリカ経済論特殊研究	4	1-3	教授 新岡智	○
	現代政治論特殊研究	4	1-3	教授 林博史	○
	現代中国論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	ジエンダー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷実	
	前近代史特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤明己	○
青少年問題の社会学特殊研究					
(2022年度休講)					

## 演習科目

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・ 経済学史	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	
	演習	I	4 1	教授 谷野勝明*	○
	演習	II	4 2	教授 谷野勝明*	○
	演習	III	4 3	教授 谷野勝明*	○
近代経済学	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	
	演習	I	4 1	教授 中泉拓也	○
	演習	II	4 2	教授 中泉拓也	○
	演習	III	4 3	教授 中泉拓也	○
	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	
	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	

分野	科目名	単位	配当年次	担当者		研究指導
応用経済	演習	I	4	1	教授 宮本 守*	○
	演習	II	4	2	教授 宮本 守*	○
	演習	III	4	3	教授 宮本 守*	○
	演習	I	4	1	(2022年度休講)	
	演習	II	4	2	(2022年度休講)	
	演習	III	4	3	(2022年度休講)	
	演習	I	4	1	(2022年度休講)	
	演習	II	4	2	(2022年度休講)	
	演習	III	4	3	(2022年度休講)	
経済史・世界経済	演習	I	4	1	教授 新岡 智	○
	演習	II	4	2	教授 新岡 智	○
	演習	III	4	3	教授 新岡 智	○
	演習	I	4	1	教授 新名 なつ紀	○
	演習	II	4	2	教授 新名 なつ紀	○
	演習	III	4	3	教授 新名 なつ紀	○
共通	演習	I	4	1	教授 林 博史	○
	演習	II	4	2	教授 林 博史	○
	演習	III	4	3	教授 林 博史	○
	演習	I	4	1	教授 伊藤 明己	○
	演習	II	4	2	教授 伊藤 明己	○
	演習	III	4	3	教授 伊藤 明己	○
	演習	I	4	1	(2022年度休講)	
	演習	II	4	2	(2022年度休講)	

## 経済学専攻履修方法

1. 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
2. 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
3. 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習Iから順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

※2023年3月定年退職予定

## 【経営学専攻 博士後期課程】

## 講義科目

(2022年度実績)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	経営史特殊研究	4	1-3	教授 四宮正親 (2022年度休講)	○
	経営学特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	経営管理論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	国際経営論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	経営財務論特殊研究	4	1-3	教授 迂聖二也	○
	現代企業論特殊研究	4	1-3	教授 小山嚴也	○
経営情報	意思決定論特殊研究	4	1-3	教授 渡邊光一	○
	経営科学応用論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
流通・マーケティング	現代流通論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	流通システム論特殊研究	4	1-3	教授 福田敦也	○
	マーケティング・コミュニケーション論特殊研究	4	1-3	教授 岩崎達也	○
	マーケティング論特殊研究	4	1-3	准教授 天野恵美子	○
会計学	会計学特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	管理会計論特殊研究	4	1-3	教授 江頭幸代	○
	財務会計論特殊研究	4	1-3	教授 越智信仁	○
	原価管理論特殊研究	4	1-3	教授 山北晴雄	○
共通	現代政治論特殊研究	4	1-3	教授 林博史	○
	現代中国論特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	ジエンドー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷実	○
	前近代史特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤明己	○
	青少年問題の社会学特殊研究	4	1-3	(2022年度休講)	

## 演習科目

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	
	演習	I	4 1	(2022年度休講)	
	演習	II	4 2	(2022年度休講)	
	演習	III	4 3	(2022年度休講)	
	演習	I	4 1	教授 四宮正親	○
	演習	II	4 2	教授 四宮正親	○
	演習	III	4 3	教授 四宮正親	○
	演習	I	4 1	教授 四宮正親	○
	演習	II	4 2	教授 四宮正親	○
	演習	III	4 3	教授 四宮正親	○
	演習	I	4 1	教授 四宮正親	○
	演習	II	4 2	教授 四宮正親	○
	演習	III	4 3	教授 四宮正親	○
経営情報	演習	I	4 1	教授 渡邊光一	○
	演習	II	4 2	教授 渡邊光一	○
	演習	III	4 3	教授 渡邊光一	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
流通・マーケティング	演習	I	4	1 (2022年度休講)	
	演習	II	4	2 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 福田 敦也	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 福田 敦也	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 福田 敦也	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 岩崎 達也	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 岩崎 達也	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 岩崎 達也	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 准教授 天野 恵美子	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 准教授 天野 恵美子	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 准教授 天野 恵美子	<input type="radio"/>
会計学	演習	I	4	1 (2022年度休講)	
	演習	II	4	2 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 江頭 幸代	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 江頭 幸代	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 江頭 幸代	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 北晴 雄代	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 山北 雄代	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 山北 雄代	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 越智 仁代	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 越智 仁代	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 越智 仁代	<input type="radio"/>
共通	演習	I	4	1 (2022年度休講)	
	演習	II	4	2 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 (2022年度休講)	<input type="radio"/>
	演習	I	4	1 教授 細谷 実	<input type="radio"/>
	演習	II	4	2 教授 細谷 実	<input type="radio"/>
	演習	III	4	3 教授 細谷 実	<input type="radio"/>

## 経営学専攻履修方法

- 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
- 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
- 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習Iから順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

## 1. 募集人數

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
法学研究科	法学専攻	5	2
	地域創生専攻 [2023年4月設置予定]	3	—

注1] 博士前期課程の入学定員は変更になる場合があります。

注2] 法学専攻博士前期課程は、上記入学定員を「研究者養成コース」と「専修コース」の2つに分けて募集します。

注3] 「研究者養成コース」は一般入学試験で若干名募集します。なお、入学する学生は、原則として博士後期課程に進学するよう指導します。

注4] 「専修コース」は次の入学試験（一般入学試験 学内推薦入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験）により若干名募集します。

注5] 地域創生専攻は1月募集のみ。出願を希望する者は、事前にアドミッションズセンターまでお問い合わせください。地域創生専攻の入試情報は、「法学研究科ホームページ」で随時ご案内します。

注6] 博士後期課程は、上記入学定員を次の入学試験（一般入学試験 学内推薦入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験 法科大学院修了者特別選抜試験 新司法試験合格者特別選抜試験）により募集します。

## 2. 出願資格

### 【博士前期課程（法学専攻）】

#### (1) 一般入学試験（研究者養成コース・専修コース）

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

#### (2) 学内推薦入学試験（専修コース）

関東学院大学を2023年3月までに卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立つて当該学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

#### (3) 社会人入学試験（専修コース）

以下の①または②に該当し、在職経験がある者または現在在職している者（家事専従者を含む）

- ① 学校教育法に定める大学を2020年3月以前に卒業した者
- ② 2023年4月1日現在満25歳以上の者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、卒業（修了）見込みの者を除く）

#### (4) 外国人留学生入学試験（専修コース）

外国籍を有し、入学後は在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

## 【博士後期課程】

### (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

### (2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本研究科博士前期課程（研究者養成コース）を2023年3月までに修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ出願に先立って指導教授の推举により本研究科が出願を認めた者

### (3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する社会人

- ① 職業の有無にかかわらず、2023年3月末日時点で、大学院修士課程・博士前期課程修了後2年以上経過している者
- ② 本研究科博士前期課程に社会人入学試験または社会人推薦入学試験で入学し、同課程を修了または修了見込みの者
- ③ 2023年3月末日時点で、大学卒業後5年以上を経過し、かつ修士学位論文に準ずる研究業績のある者

### (4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2023年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者
- ② 日本の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2023年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者

### (5) 法科大学院修了者特別選抜試験

法務博士（専門職）学位取得者、及び2023年3月取得見込みの者

### (6) 新司法試験合格者特別選抜試験

法務博士（専門職）学位取得者で、かつ新司法試験合格者

**注】「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。**

## 3. 事前協議（博士後期課程）

博士後期課程志望者は、出願に先立って志望する専修分野の指導教授と以下の日程により事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」（本要項とじ込みの用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）、「修士学位論文」（またはこれに準ずるもの）の写し1部、「研究計画書」（本要項とじ込みの用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）を申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。また、前記の書類に加え、法科大学院修了者特別選抜試験を受ける者は「リサーチペーパー」、新司法試験合格者特別選抜試験を受ける者は「リサーチペーパー」及び「新司法試験合格証書」（または合格通知書）の写しも提出してください。ただし、本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）については、事前協議は行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月4日（月）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月5日（月）		

#### 4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

【博士前期課程（法学専攻）】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考	一般入試 学内推薦入試 留学生入試	社会人入試
1	志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照	○	○
2	※履歴票		○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	○
6	※研究計画書	2,000字程度	○	○
7	※職務経験書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出	—	○
8	※自己推薦状		—	○
9	資格取得を証明する書類	注4] 写し可	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、出願時に上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] ●社会人入試の志願者のうち、自己推薦状もしくは職務経験書に資格を記入した場合は、資格取得を証明する書類を提出してください。（資格の記入は任意）

●資格取得例：公認会計士（短答式試験、論文式試験）、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、税理士試験（科目合格も可）、司法書士試験、不動産鑑定士等。

●一般入試（研究者養成コース）に出願する者で外国語科目の免除を希望する者は、該当する資格試験の合格証明書または成績証明書を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考	一般入試 学内推薦入試 留学生入試	社会人入試	法科大学院修了者特別選抜試験	新司法試験合格者特別選抜試験
1	※志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※履歴票		○	○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	修士課程（博士前期課程）成績証明書	注1、2]	○	○		
5	法科大学院成績証明書	注1、2]			○	○
6	修士課程（博士前期課程）修了証明書または修了見込証明書	注1、2]	○	○		
7	法科大学院修了証明書または修了見込証明書 法務博士学位取得証明書	注1、2]			○	○
8	修士学位論文またはそれに準ずるもの	写し3部、要旨3部 修士学位論文に準ずるものは、40,000字程度、欧文の場合は80,000字程度の論文とする 外国人留学生入試に出願する者で外国語で書かれた論文を提出する場合は、日本語による要旨を添付すること	○	○	—	—
9	※研究計画書		○	○	—	—
10	内諾書	志望する専修分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要	○	○	—	—
11	※職務経験書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの本要項とじ込みの表紙をつけて提出	—	○	—	—
12	※自己推薦状		—	○	—	—
13	※リサーチペーパー	3部 主に志望する研究分野における任意の研究テーマに関する日本語で執筆された論文(15,000字程度)	—	—	○	○
14	新司法試験合格証書(写) または合格通知書(写)		—	—	—	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

## 5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

## 6. 試験科目及び試験時間割

### 【博士前期課程（法学専攻）】

#### (1) 一般入学試験（研究者養成コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
外 国 語	100点	9：00～10：30 (90分)	英語、ドイツ語、フランス語の3科目から1ヶ国語を出願時に選択（標準辞書使用可。ただし、電子辞書を除く） ※以下に示す、一定の外国語能力があると認められる者に対するは外国語科目を免除する <ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語 TOEFL iBT79点以上もしくはITP550点以上、またはTOEIC (L&amp;R) 730点以上</li> <li>● ドイツ語 ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上またはゲーテ・ドイツ語検定試験B2以上</li> <li>● フランス語 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上またはフランス国民教育省フランス語資格検定試験(DELF) B2以上</li> </ul>
小論文 (2科目)	各100点 計200点	10：50～12：50 (120分)	志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目の中から、1科目を「主要科目」とし、同分野の残りの科目から1科目を「選択科目」として、2科目を出願時に選択。 注] P. 52の別表参照 (大学が貸与する小六法の使用可)
面接	—	14：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

#### (2) 一般入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
法学に関する 小論文 または 法律科目	100点	10：50～12：50 (120分)	法学に関する小論文または別表に掲げる法律科目1科目 ※別表 (P. 52) に掲げる法律科目については、志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目の中から1科目を出願時に選択 (法律科目の筆記試験には、大学で貸与する小六法の使用可)
面接	—	14：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

#### (3) 学内推薦入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

#### (4) 社会人入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：00～	研究計画、将来の進路等について

#### (5) 外国人留学生入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：50～11：50 (60分)	志望する専修分野において指定された科目のうちから、希望する指導教授が担当する1科目を出願時に選択 注] P. 52の別表参照 (大学が貸与する小六法の使用可)
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(別 表1)

専修分野	指導教授	担当科目	受験指定科目
公共関係法	吉田仁美	憲 法	憲 法
	※出石 稔	地方自治法	行政 法
	村上 裕	西洋法制史	西洋法制史
	今村 哲也	行政 法	行政 法
	山田 有 人	税 法	税 法
	宮本 弘典	刑 法	刑 法
	川島 健治	刑法 刑事訴訟法	刑法 刑事訴訟法
	藤田 潤一郎	政治 学	政治 学
	徳永 江利子	家族 法	民法(家族法)
	浅野 俊哉	社会思想史	社会思想史
	武藤 達夫	国際 法	国際 法
	高瀬 幹雄	国際 政治	国際 政治学
経済関係法	松原 哲	民法(財産法)	民法(財産法)
	村田 輝夫	民法(財産法)	民法(財産法)
	(削除)	(削除)	(削除)
	河村 好彦	民事訴訟法	*民事訴訟法
	三原園子	企業取引法 企業組織法 有価証券法	*商 法
	本田 直志	経済 法 国際経済法	経済 法 国際経済法
	※大原利夫	社会保障 法	社会保障 法
	山田 有 人	国際租税 法	税 法

注1] 指導教授を出石稔教授または大原利夫教授とする場合は、事前にアドミッションズセンターへ申し出てください。

注2] 一般入学試験(研究者養成コース)受験者は、志願票に記入した小論文科目(2科目)の、それぞれの〔設問1〕について論述する。一般入学試験(専修コース)受験者は、志願票に記入した小論文科目(1科目)の、それぞれの〔設問1・設問2〕について論述する。

注3] ※指導教授を河村好彦教授とする場合は、志願票には「民事訴訟法」と記載し、試験当日に「民事訴訟法」「倒産法」からいずれか1科目を任意に選択する。

※指導教授を三原園子教授とする場合は、志願票には「商法」と記載し、試験当日に「商法(総則・商行為)」(削除)「会社法」「手形法・小切手法」からいずれか1科目を任意に選択する。

\*このページの「経済関係法」及び欄外の一部(下線部分)について、

修正しております。配布している募集要項と一部相違があります。

**【博士後期課程】**

**(1) 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
外 国 語 (2 科 目)	各100点 計200点	9 : 00~11 : 00 (120分)	英語、ドイツ語、フランス語の3科目から2科目を出願時に選択（標準辞書使用可。ただし、電子辞書を除く）
面 接	—	11 : 30~	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

**(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面 接	—	11 : 30~	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

**(3) 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
外 国 語	100点	9 : 00~10 : 00 (60分)	英語、ドイツ語、フランス語の3科目から1科目を出願時に選択（標準辞書使用可。ただし、電子辞書を除く）
面 接	—	11 : 30~	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

**(4) 外国人留学生入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
日 本 語	100点	9 : 00~11 : 00 (120分)	標準辞書使用可。ただし、電子辞書を除く。
面 接	—	11 : 30~	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

**(5) 法科大学院修了者特別選抜試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
外 国 語	100点	9 : 00~10 : 00 (60分)	英語、ドイツ語、フランス語の3科目から1科目を出願時に選択（標準辞書使用可。ただし、電子辞書を除く）
面 接	—	11 : 30~	提出されたリサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

**(6) 新司法試験合格者特別選抜試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
面 接	—	11 : 30~	提出されたリサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

**7. 試験場 (P. 98、99参照)**

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 045(786)7019 (アドミッションズセンター)

## ◎ 法学研究科授業科目表

【博士前期課程（法学専攻）】

講義科目（基礎講義）

(2022年度実績)

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
					春	秋	
公共関係法	憲法 I 基礎講義	2	△	1・2	○		教授 吉田仁美
	憲法 II 基礎講義	2	△	1・2	○		准教授 原口佳誠
	行政法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 今村哲也
	環境法基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	税法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 山田有人
	法哲学基礎講義	2	△	1・2	○		准教授 烏澤円
	西洋法制史基礎講義	2	△	1・2	○		教授 村上裕
	国際法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 武藤達夫
	地方自治法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 出石稔
	刑法 I 基礎講義	2	△	1・2	○		教授 宮本弘典
	刑法 II 基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	経済刑法基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	刑事訴訟法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 川島健治
	刑事政策基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	刑事法史学基礎講義	2	△	1・2	○		教授 宮本弘典
経済関係法	政治学基礎講義	2	△	1・2	○		教授 藤田潤一郎
	国際政治基礎講義	2	△	1・2	○		教授 高瀬幹雄
	社会思想史基礎講義	2	△	1・2	○		教授 浅野俊哉
	民法（財産法 I）基礎講義	2	△	1・2	○		教授 村田輝夫
	民法（財産法 II）基礎講義	2	△	1・2	○		教授 松原哲
	民法（財産法 III）基礎講義	2	△	1・2	○		教授 志村武
	家族法基礎講義	2	△	1・2	○		准教授 德永江利子
	民事訴訟法 I 基礎講義	2	△	1・2	○		教授 本田耕一*
	民事訴訟法 II 基礎講義	2	△	1・2	○		教授 河村好彦
	企業取引法基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	企業組織法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 三原園子
	有価証券法基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	経済法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 本田直志
	金融商品取引法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 長谷川新
	国際経済法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 本田直志
	労働法基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	社会保障法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 大原利夫
	国際金融制度論基礎講義	2	△	1・2	○		(2022年度休講)
	国際租税法基礎講義	2	△	1・2	○		教授 山田有人

△：専攻する分野の科目について必修となる

## 講義科目（特殊講義）

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
					春	秋	
公共関係法	憲 法 I 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 吉 田 仁 美
	憲 法 II 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	准教授 原 口 佳 誠
	行政 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 今 村 哲 也
	環 境 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	税 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 山 田 有 人
	法 哲 学 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	准教授 鳥 澤 円
	西 洋 法 制 史 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 村 上 裕
	国 際 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 武 藤 達 夫
	地 方 自 治 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 出 石 稔
	刑 法 I 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 宮 本 弘 典
	刑 法 II 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	経 済 刑 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	刑 事 訴 訟 法 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 川 島 健 治
	刑 事 政 策 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	刑 事 法 史 学 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 宮 本 弘 典
	政 治 学 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 藤 田 潤 一 郎
	国 際 政 治 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 高 瀬 幹 雄
	社 会 思 想 史 特 殊 講 義	2	△	1・2		○	教 授 浅 野 俊 哉
公共関係法文献研究	公共関係法文献研究	2	△	1・2	○	教 授 浅 野 俊 哉	教 授 俊 哉
						教 授 野 村 俊 哉	教 授 也
						教 授 村 石 俊 哉	教 授 哲
						教 授 田 岩 俊 哉	教 授 稔
						教 授 瀬 田 岩 俊 哉	教 授 治
						教 授 川 高 山 岩 俊 哉	教 授 雄
						教 授 藤 田 岩 俊 哉	教 授 人
						教 授 宮 本 岩 俊 哉	教 授 邦
						教 授 武 村 岩 俊 哉	教 授 達
						教 授 上 田 岩 俊 哉	教 授 裕

△：専攻する分野の科目について必修となる

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担 当 者
					春	秋	
経済関係法	民法(財産法Ⅰ)特殊講義	2	△	1・2		○	教授 村田輝夫
	民法(財産法Ⅱ)特殊講義	2	△	1・2		○	教授 松原哲
	民法(財産法Ⅲ)特殊講義	2	△	1・2		○	教授 志村武
	家族法特殊講義	2	△	1・2		○	准教授 徳永江利子
	民事訴訟法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	教授 本田耕一*
	民事訴訟法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	教授 河村好彦
	企業取引法特殊講義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	企業組織法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 三原園子
	有価証券法特殊講義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	経済法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 本田直志
	金融商品取引法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 長谷川新
	国際経済法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 本田直志
	労働法特殊講義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	社会保障法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 大原利夫
	国際金融制度論特殊講義	2	△	1・2		○	(2022年度休講)
	国際租税法特殊講義	2	△	1・2		○	教授 山田有り人
経済関係法文献研究		2	△	1・2		○	教授 大原利夫 教授 河村好彦 准教授 徳永江利子 教授 本田耕一* 教授 本田直志 教授 本松原園子 教授 三村田輝夫人 教授 山田有り人

△：専攻する分野の科目について必修となる

## 演習科目

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担 当 者
					春	秋	
公共関係法	憲法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 吉田仁美
	憲法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 吉田仁美
	行政法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 今村哲也
	行政法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 今村哲也
	税法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 山田有り人
	税法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 山田有り人
	法哲学専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	法哲学専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	西洋法制史専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 村上裕
	西洋法制史専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 村上裕
	国際法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 武藤達夫
	国際法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 武藤達夫
	地方自治法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 出石稔
	地方自治法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 出石稔
	刑法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 宮本弘典
	刑法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 宮本弘典
	刑法専門応用(演習) 3	1	△	1・2	○		教授 川島健治
	刑法専門応用(演習) 4	1	△	1・2		○	教授 川島健治
	経済刑法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	経済刑法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	刑事訴訟法専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 川島健治
	刑事訴訟法専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 川島健治
	刑事政策専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	刑事政策専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	政治学専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 藤田潤一郎
	政治学専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 藤田潤一郎
	国際政治専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 高瀬幹雄
	国際政治専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 高瀬幹雄
	社会思想史専門応用(演習) 1	1	△	1・2	○		教授 浅野俊哉
	社会思想史専門応用(演習) 2	1	△	1・2		○	教授 浅野俊哉

△：専攻する分野の科目について必修となる

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担 当 者
					春	秋	
経 濟 関 係 法	民法（財産法）専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		教 授 松 原 哲
	民法（財産法）専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 松 原 哲
	民法（財産法）専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		教 授 村 田 輝 夫
	民法（財産法）専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	教 授 村 田 輝 夫
	家族法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		准教授 德 永 江利子
	家族法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	准教授 德 永 江利子
	民事訴訟法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		教 授 本 田 耕 一*
	民事訴訟法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 本 田 耕 一*
	民事訴訟法専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		教 授 河 村 好 彦
	民事訴訟法専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	教 授 河 村 好 彦
	企業活動法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	企業活動法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	企業組織法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		教 授 三 原 園 子
	企業組織法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 三 原 園 子
	有価証券法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	有価証券法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2		○	教 授 本 田 直 志
	経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 本 田 直 志
	金融商品取引法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	金融商品取引法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	国際経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2		○	教 授 本 田 直 志
	国際経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 本 田 直 志
	労働法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	労働法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	社会保障法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		教 授 大 原 利 夫
	社会保障法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 大 原 利 夫
	国際金融制度論専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		(2022年度休講)
	国際金融制度論専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	(2022年度休講)
	国際租税法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		教 授 山 田 有 人
	国際租税法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	教 授 山 田 有 人

△：専攻する分野の科目について必修となる

## 研究指導科目

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
				春	秋	
合 同 論 文 指 導 I	1	○	1	○		哉 稔 也 夫 治 彦 雄 子 人 郎 一 志 哲 子 典 夫 裕 夫 美 俊 哲 利 健 好 幹 江 有 潤 耕 直 園 弘 達 輝 仁 野 石 村 原 島 村 瀬 永 田 田 田 原 原 本 藤 上 田 田 淺 出 今 大 川 河 高 德 山 藤 本 本 松 三 宮 武 村 村 吉
合 同 論 文 指 導 II	1	○	1	○		哉 稔 也 夫 治 彦 雄 子 人 郎 一 志 哲 子 典 夫 裕 夫 美 俊 哲 利 健 好 幹 江 有 潤 耕 直 園 弘 達 輝 仁 野 石 村 原 島 村 瀬 永 田 田 田 原 原 本 藤 上 田 田 淺 出 今 大 川 河 高 德 山 藤 本 本 松 三 宮 武 村 村 吉

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
				春	秋	
合 同 論 文 指 導 III	2	○	2	○		教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授
合 同 論 文 指 導 IV	2	○	2	○		教授 教授 教授 教教授 教教授 教教授 准教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授 教教授

## 履修方法及び修了要件

- ① 入学の際、専修分野を1つ選択すること。
- ② 開講科目の中から条件にしたがって、2年以上にわたって30単位以上を修得すること。
- ③ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※2023年3月定年退職予定

## 【博士後期課程】

## 講義科目

(2022年度実績)

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
					春	秋	
公共関係法	憲法特殊研究1	2	△		○		教授 吉田仁美
	憲法特殊研究2	2	△			○	教授 吉田仁美
	行政法特殊研究1	2	△		○		教授 今村哲也
	行政法特殊研究2	2	△			○	教授 今村哲也
	法哲学特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	法哲学特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	税法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	税法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	国際法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	国際法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	地方自治法特殊研究1	2	△		○		教授 出石稔
	地方自治法特殊研究2	2	△			○	教授 出石稔
	環境法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	環境法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	刑法特殊研究1	2	△		○		教授 宮本弘典
	刑法特殊研究2	2	△			○	教授 宮本弘典
	刑事訴訟法特殊研究1	2	△		○		教授 川島健治
	刑事訴訟法特殊研究2	2	△			○	教授 川島健治
	政治学特殊研究1	2	△		○		教授 藤田潤一郎
	政治学特殊研究2	2	△			○	教授 藤田潤一郎
	社会思想史特殊研究1	2	△		○		教授 浅野俊哉
	社会思想史特殊研究2	2	△			○	教授 浅野俊哉
	国際政治学特殊研究1	2	△		○		教授 高瀬幹雄
	国際政治学特殊研究2	2	△			○	教授 高瀬幹雄
経済関係法	民法(財産法)特殊研究1	2	△		○		教授 松原哲
	民法(財産法)特殊研究2	2	△			○	教授 松原哲
	民法(財産法)特殊研究3	2	△		○		教授 村田輝夫
	民法(財産法)特殊研究4	2	△			○	教授 村田輝夫
	家族法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	家族法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	民事訴訟法特殊研究1	2	△		○		教授 本田耕一*
	民事訴訟法特殊研究2	2	△			○	教授 本田耕一*
	企業活動法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	企業活動法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	企業組織法特殊研究1	2	△		○		教授 三原園子
	企業組織法特殊研究2	2	△			○	教授 三原園子
	有価証券法特殊研究1	2	△		○		教授 三原園子
	有価証券法特殊研究2	2	△			○	教授 三原園子

分 野	科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
					春	秋	
経済関係法	競争法特殊研究1	2	△		○		教授 本田直志
	競争法特殊研究2	2	△			○	教授 本田直志
	国際経済法特殊研究1	2	△		○		教授 本田直志
	国際経済法特殊研究2	2	△			○	教授 本田直志
	労働法特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	労働法特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)
	国際金融制度論特殊研究1	2	△		○		(2022年度休講)
	国際金融制度論特殊研究2	2	△			○	(2022年度休講)

△：専攻する分野の科目について必修となる

#### 研究指導科目

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者
				春	秋	
合 同 論 文 指 導 V	2	○	1	○		教授 俊也哉穏也治雄一郎一志子典美 教員 石村哲健子潤一郎一志子典美 教員 島幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 澤田潤一郎一志子典美 教員 田中幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 三井園弘仁子潤一郎一志子典美 教員 宮原由紀子潤一郎一志子典美 教員 本田吉弘仁子潤一郎一志子典美
合 同 論 文 指 導 VI	2	○	1		○	教授 俊也哉穏也治雄一郎一志子典美 教員 石村哲健子潤一郎一志子典美 教員 島幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 澤田潤一郎一志子典美 教員 田中幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 三井園弘仁子潤一郎一志子典美 教員 宮原由紀子潤一郎一志子典美 教員 本田吉弘仁子潤一郎一志子典美
合 同 論 文 指 導 VII	2	○	2	○		教授 俊也哉穏也治雄一郎一志子典美 教員 石村哲健子潤一郎一志子典美 教員 島幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 澤田潤一郎一志子典美 教員 田中幹吉弘仁子潤一郎一志子典美 教員 三井園弘仁子潤一郎一志子典美 教員 宮原由紀子潤一郎一志子典美 教員 本田吉弘仁子潤一郎一志子典美

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		担当者											
				春	秋	教	授	教	授	教	授	教	授	教	授	教	授
合 同 論 文 指 導 Ⅷ	2	○	2		○	浅	野	石	村	島	瀬	高	藤	本	今	川	哉
						出	石	村	島	瀬	幹	藤	田	田	川	論	稔
						今	哲	哲	也	潤	一	本	田	田	高	文	健
						川	島	島	島	直	郎	田	田	田	論	治	也
						原	本	本	園	弘	子	原	本	宮	今	論	也
						吉	吉	吉	仁	典	美	吉	吉	吉	川	文	也
						三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	論	哉
						宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	宮	文	稔
						原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	指	俊
						本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	導	哲
						田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	授	健
						田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	教	幹
						本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	授	潤
						田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	授	一
						吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	授	志

## 履修方法及び修了要件

- ① 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、専攻する専修分野の研究指導科目 6 科目12単位を修得すること。
- ② 博士の学位を受けようとする者は、3 年以上在学し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

## 法学研究科 博士後期課程 指導教授一覧 (2022年度実績)

浅 野 俊 哉	高 瀬 幹 雄	三 原 園 子
出 石 稔	藤 田 潤 一 郎	原 本 弘 典
今 村 哲 也	本 田 耕 一 *	園 仁 典 美
川 島 健 治	本 田 直 志	

※2023年3月定年退職予定



## 1. 募集人數

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
工学研究科	機械工学専攻	7	-
	電気工学専攻	7	-
	情報学専攻	3	-
	建築学専攻	10	3
	土木工学専攻	5	-
	物質生命科学専攻	12	-
	総合工学専攻		
	機械工学専修		
	電気工学専修		
	健康・人間工学専修		
		専攻全体(全専修合計) 7	

注1] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、公募制推薦入学試験（博士前期課程のみ）、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

注2] 博士後期課程総合工学専攻は、募集は専攻で行いますが、出願時に希望した指導教授により専修が決定します。

## 2. 出願資格

## 【博士前期課程】

## (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

## (2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科で出願を認めた者

## (3) 公募制推薦入学試験

以下のいずれかに該当し、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って在学または在学していた学校における学部長（学部長に準ずる者）あるいは指導教員から推薦された者。ただし、本学を卒業した者及び卒業見込みの者は除く

- ① 大学を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 学校教育法第68条の2 第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- ③ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者

## (4) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、大学を卒業した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

## (5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）いずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

## 【博士後期課程】

### (1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

### (2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学工学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦された者

### (3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する者

- ① 一般入学試験の出願資格（1）、（2）のいずれかに該当し、博士前期課程を修了した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者
- ② 一般入学試験の出願資格（6）に該当し、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

## 3. 事前協議について

博士前期課程志望者のうち、他大学からの志願者、公募制推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験で受験する者（本学理工学部、建築・環境学部卒業見込みの者は除く）及び博士後期課程志望者のうち、他大学からの志願者及び社会人入学試験で受験する者は、出願に先立ち、志望専攻の専攻主任または希望する専修科目的指導教授と事前協議を行い、内諾書（出願時に提出）の交付を受けてください。なお、事前協議実施にあたり、担当教員より追加資料をお願いする場合があります。

事前協議を希望する場合には、申込締切日までにアドミッションズセンター（TEL. 045-786-7019）へ申し出てください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月4日（月）		
1月募集	2023年 1月13日（金）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。

#### 4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

【博士前期課程】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考
1	志願票	P. 100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	成績証明書	注1、3]
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み）証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類
6	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
7	※推薦状	公募制推薦入学試験で受験する者のみ提出 在学または在学していた学校の指導教員（指導教授等）の推薦状
8	内諾書	事前協議者のみ提出 希望する専修科目の指導教授または専攻主任が作成したもの
9	資格試験に関する証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.69の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書（写し可）を提出すること。

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注5] 一般入学試験及び外国人留学生入学試験で建築学専攻を受験する者で、建築・都市計画専修を希望する者は、面接の際、本人の作品であることを証明するもの（例えば、指導教授による証明等）を添付した建築設計作品2点以上を持参してください。

【博士後期課程】（※印は巻末にとじ込みの用紙）

出願書類		備考
1	※志願票	P.100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2]
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2]
6	修士学位論文または それに準ずるもの	写し1部及び要旨5部 ただし、修了見込みの者は、要旨5部を提出すること
7	※職務経験書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
8	内諾書	事前協議者のみ提出 希望する専修科目の指導教授または専攻主任が作成したもの
9	資格試験に関する証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.71の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書（写し可） を提出すること。

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

## 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

## 6. 試験科目及び試験時間割

### 【博士前期課程】

#### (1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	大学が用意する英和・和英辞書の使用可 TOEFL ITP550点(iBT79点)以上またはTOEIC(L&R)730点以上の者は英語の試験を免除する。
専門基礎科目 (2科目)	各100点 計200点	10:20~12:20 (120分)	出願時に2科目選択(次ページの別表参照) 大学が用意する電卓の使用可
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	一	14:50~	口頭試問

#### (2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	14:50~	口頭試問

#### (3) 公募制推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	一	14:50~	口頭試問

#### (4) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	一	14:50~	外国文献読解力を含む口頭試問

#### (5) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門基礎科目 (2科目)	各100点 計200点	10:20~12:20 (120分)	出願時に2科目選択(次ページの別表参照) 語学辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) 大学が用意する電卓の使用可
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	語学辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	一	14:50~	口頭試問

## (別 表)

## 【博士前期課程】専門基礎科目 試験科目表（2科目選択）

試験科目						備考	
機械工学	応用数学 機械工学一般 工業熱力学 材料力学 機械力学 水力学（含む流体工学）	応用数学、機械工学一般のいずれか1科目と、工業熱力学、材料力学、機械力学、水力学（含む流体工学）のうちから1科目を選択					
電気工学	数物科学専修 生物学 物理 数量子力学 解力分析 理論電磁気学	数物科学専修を希望する者は、左記6科目から2科目を選択					
電子工学	電子物性工学専修、電気エネルギー工学専修、情報システム工学専修 ・必須科目群 回路理論 電磁気学 ・選択科目群 コンピュータシステム 電気エネルギー工学 電気計測 電子子物性学 電波工学	電子物性工学専修、電気エネルギー工学専修、情報システム工学専修を希望する者は左記のうち、必須科目群から1科目、ならびに選択科目群から1科目を選択					
健康・人間医工学	健康・人間医工学専修 解剖生理学 コンピュータシステム 生体医工学 電気計測	健康・人間医工学専修を希望する者は、左記4科目から2科目を選択					
情報学	情報報理論 情報報理工学 プログラミング ネットワーク工学 情報報数学 コンテンツクリエーション	左記6科目から2科目を選択					
建築学	※ (1) 建築学一般 (2) 建築・都市計画 (3) 建築構造・生産 (4) 建築設備・環境工学	※ (1)の試験科目を必須とし、さらに(2)～(4)の試験科目から希望する専修に相当する1科目を選択すること。 (1)の試験科目では、建築・都市計画、建築構造・生産、建築設備・環境工学から各2問の合計6問を出題するので、そのうち4問を選択して解答する。					
土木工学	(1) 構造工学 (2) 地盤工学 (3) 水理工学 (4) コンクリート工学 (5) 防災工学	(1)は構造力学と簡単な構造動力学も含む (2)は土質力学と地盤防災工学を含む (4)はコンクリート（その他の土木材料含む）に関する構造学及び材料学 (5)は地震防災を中心とする都市防災全般、一部土木工学一般を含む					
物質生命科学	(1) 分析機械化 (2) 無機化 (3) 有機化 (4) 物理化 (5) 生物化 (6) 分子生物学 (7) 细胞生物学 (8) 微生物学 (9) 分子生物学	(1)～(9)の試験科目から2科目を選択すること。ただし、生命科学専修を希望する者以外は、(1)～(5)の試験科目から1科目以上、生命科学専修を希望する者は、(6)～(9)の試験科目から1科目以上を必ず選択すること。					

注1] 志願票に記入した受験科目2科目について解答してください。

志願票に記入した科目以外のものについて解答すると、その部分は無効となるので、充分注意してください。

※建築学の試験科目・備考欄について、一部内容修正しています。配布している募集要項には、正誤表を入れています。

**【博士後期課程】****(1) 一般入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	辞書使用不可 TOEFL ITP550点(iBT79点)以上またはTOEIC(L&R)730点以上の者は英語の試験を免除する。 ※総合工学専攻の出題は専修ごとに行う。
面接	一	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

**(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

**(3) 社会人入学試験**

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	一	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

**7. 試験場 (P.98、99参照)**

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 045(786)7019 (アドミッションズセンター)

# ◎ 工学研究科授業科目表

機械工学専攻 博士前期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
専修科目	計測・制御工学専修	計測・制御工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 金田徹	指導教授	
		計測・制御工学研究 II	2	△	1	演習		2			
	機械情報工学専修	機械情報工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 小松督	指導教授	
		機械情報工学研究 II	2	△	1	演習		2			
	材料力学・設計工学専修	材料力学・設計工学研究 I	2	△	1	演習	2		2022年度休講		
		材料力学・設計工学研究 II	2	△	1	演習		2			
	流体工学専修	流体工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 宮永宜典	指導教授	
		流体工学研究 II	2	△	1	演習		2			
必修科目	熱工学専修	熱工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 辻森淳	指導教授	
		熱工学研究 II	2	△	1	演習		2			
	材料・生産工学専修	材料・生産工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 柳生裕聖 教授 博士(工学) 内山光夫 講師 博士(工学) 堀田智哉	指導教授 指導教授	
		材料・生産工学研究 II	2	△	1	演習		2			
全専修	文献研究 I A	1	○	1		演習	2		教授 工学博士 金田徹	指導教授	
		文献研究 I B	2	○	1	演習		2			
	文献研究 II A	1	○	2		演習	2		教授 博士(工学) 小松督	指導教授	
		文献研究 II B	2	○	2	演習		2			
	研究実験 I A	1	○	1		実験	2		教授 博士(工学) 辻森淳	指導教授	
		研究実験 I B	2	○	1	実験		4			
	研究実験 II A	1	○	2		実験	2		教授 博士(工学) 柳生裕聖 教授 博士(工学) 内山光夫 准教授 博士(工学) 武田克彦 講師 博士(工学) 堀田智哉	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授	
		研究実験 II B	2	○	2	実験		4			

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専 修	科 目	単 位	必 選 別	配当 年次	授業 形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	機械工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松督 非常勤講師 博士(工学) 野口昭治	
		機械工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 辻森淳 非常勤講師 工学博士 野々下知泰	
		精密計測システム特論	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 金田徹	
		計測情報処理特論	2		1・2	講義		2		
		機械情報工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松督 講師 博士(工学) 堀田智哉 非常勤講師 博士(工学) 野口昭治 講師 博士(工学) 堀田智哉 准教授 博士(工学) 武田克彦 非常勤講師 工学博士 野々下知泰 教授 博士(工学) 内山光夫 教授 博士(工学) 柳生裕聖 非常勤講師 博士(工学) 野口昭治 非常勤講師 工学博士 西直美 教授 博士(工学) 柳生裕聖	
		ロボット工学特論	2		1・2	講義		2		
		システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		機械振動学特論	2		1・2	講義		2		
		機素材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			旧科目名 「材料評価 工学特論Ⅰ」
		機素材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		旧科目名 「材料評価 工学特論Ⅱ」
		設計工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		設計工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		材料試験・評価特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			旧科目名 「材料試験 法特論Ⅰ」
		材料試験・評価特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		旧科目名 「材料試験 法特論Ⅱ」
		トライボロジー特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 宮永宜典 准教授 博士(工学) 武田克彦 非常勤講師 工学博士 野々下知泰 教授 博士(工学) 辻森淳 2022年度休講	
		トライボロジー特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		流体潤滑特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		流体潤滑特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		内燃機関特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		内燃機関特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		流体工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		流体工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		熱工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		熱工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		圧縮性流体工学特論	2		1・2	講義	2			
		機械工作法特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		機械工作法特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		機械材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		機械材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		生産管理特論	2		1・2	講義		2		
		溶融加工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		溶融加工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		材料・加工物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2			
		材料・加工物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		

## 電気工学専攻 博士前期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	電子物性工学専修	電子物性工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 島田和宏	指導教授
		電子物性工学研究 II	2	△	1	演習		2		
	電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 植原弘明	指導教授
		電気エネルギー工学研究 II	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 中野幸夫	指導教授
	情報システム工学専修	情報システム工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 学術博士 錢飛	指導教授
		情報システム工学研究 II	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 石坂雄平	指導教授
	健康・人間医工学専修	健康・人間医工学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 篠弘幸	指導教授
		健康・人間医工学研究 II	2	△	1	演習		2	教授 博士(体育科学) 高橋健太郎 講師 博士(リハビリテーション科学) 木村鷹介	指導教授
数物科学専修		数物科学研究 I	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 山田泰一 准教授 博士(工学) 北村美一郎	指導教授
		数物科学研究 II	2	△	1	演習		2	准教授 博士(理学) 船木靖郎 准教授 博士(理学) 中嶋大峻 講師 博士(理学) 古澤信一 准教授 博士(理学) 大谷信一	指導教授
	全専修	文献研究 I A	1	○	1	演習	2		教授 学術博士 錢飛	指導教授
		文献研究 I B	2	○	1	演習		2	教授 工学博士 山田泰一 教授 博士(工学) 篠弘幸	指導教授
必修科目		文献研究 II A	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 島田弘明	指導教授
		文献研究 II B	2	○	2	演習		2	教授 博士(工学) 中野幸夫 教授 博士(体育科学) 高橋健太郎	指導教授
		研究実験 I A	1	○	1	実験	2		准教授 博士(工学) 北村美一郎 准教授 博士(理学) 船木靖郎	指導教授
		研究実験 I B	2	○	1	実験		4	准教授 博士(工学) 石坂雄平 准教授 博士(理学) 中嶋大介	指導教授
		研究実験 II A	1	○	2	実験	2		講師 博士(リハビリテーション科学) 木村鷹介 講師 博士(理学) 古澤信一	指導教授
		研究実験 II B	2	○	2	実験		4	准教授 博士(理学) 大谷信一	指導教授

# 工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数	担当者		備考	
選 択 科 目	全 専修	電波工学特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		電波工学特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		電子デバイス工学特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		電子デバイス工学特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		分子エレクトロニクス特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		分子エレクトロニクス特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		計算物性工学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 博士(工学)島田和宏			
		計算物性工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		スマートグリッド工学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 博士(工学)中野幸夫			
		スマートグリッド工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		高電圧工学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 博士(工学)植原弘明			
		高電圧工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		インテリジェントシステム制御特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		インテリジェントシステム制御特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		並列分散システム工学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 学術博士 錢飛			
		並列分散システム工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		光デバイス工学特論 I	2	1・2	講義	2		准教授 博士(工学)石坂雄平			
		光デバイス工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		情報システム運用学特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		情報システム運用学特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		神経工学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 博士(工学)簗弘幸			
		神経工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		生体計測工学特論 I	2	1・2	講義	2		2022年度休講			
		生体計測工学特論 II	2	1・2	講義		2	2022年度休講			
		バイオメカニクス特論 I	2	1・2	講義	2		教授 博士(機械科学)高橋健太郎			
		バイオメカニクス特論 II	2	1・2	講義		2				
		健康医科学特論 I	2	1・2	講義	2		講師 博士(リハビリテーション科学)木村鷹介		新設	
		健康医科学特論 II	2	1・2	講義		2				
		原子核物理学特論 I	2	1・2	講義	2		教授 工学博士山田泰一			
		原子核物理学特論 II	2	1・2	講義		2				

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	神経生物物理学特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(工学) 北村 美一郎		
		神経生物物理学特論 II	2	1・2	講義		2				
		量子物理学特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(理学) 船木 靖郎		
		量子物理学特論 II	2	1・2	講義		2				
		高エネルギー天文学特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(理学) 中嶋 大	旧科目名 「宇宙物理学特論Ⅰ」	
		高エネルギー天文学特論 II	2	1・2	講義		2				
		理論宇宙物理学特論 I	2	1・2	講義	2			講師 博士(理学) 古澤 峻	新設	
		理論宇宙物理学特論 II	2	1・2	講義		2				
		整数論特論 I	2	1・2	講義	2			2022年度休講		
		整数論特論 II	2	1・2	講義		2				
		可換代数学特論 I	2	1・2	講義	2			2022年度休講		
		可換代数学特論 II	2	1・2	講義		2				
		微分幾何学特論 I	2	1・2	講義	2			2022年度休講		
		微分幾何学特論 II	2	1・2	講義		2				
		代数幾何学特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(理学) 大谷 信一		
		代数幾何学特論 II	2	1・2	講義		2				

## 情報学専攻 博士前期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者			備考
							春学期	秋学期				
専修科目	情報科学専修	情報科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授	博士(工学) 塚田恭章	指導教授	
		情報科学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授	博士(理学) 本橋友江		
	情報通信工学専修	情報通信工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授	工学博士 水井潔	指導教授	
		情報通信工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授	博士(学術) 永長知孝		
	情報システムデザイン専修	情報システムデザイン研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		講師	博士(工学) 平野晃昭	指導教授	
		情報システムデザイン研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授	工学博士 山本政宏	指導教授	
	情報メディア工学専修	情報メディア工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授	博士(工学) 元木誠	指導教授	
		情報メディア工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授	博士(情報学) 海老根秀之		
必修科目	全専修	研究実験ⅠA	1	○	1	演習	2		准教授	博士(理学) 小林和彦	2022年度休講	
		研究実験ⅠB	2	○	1	演習		2	教授	工学博士 山本宏		
		研究実験ⅡA	1	○	2	演習	2		教授	博士(工学) 元木誠		
		研究実験ⅡB	2	○	2	演習		2	教授	工学博士 塚田恭章		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		准教授	博士(理学) 本橋友江		
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	准教授	博士(学術) 永長知孝		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		准教授	博士(情報学) 海老根秀之		
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	講師	博士(工学) 大墨礼子		
									講師	博士(工学) 平野晃昭		
									講師	博士(工学) 高橋聰		

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	ユビキタス情報技術特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 工学博士 水 井 潔	
		ユビキタス情報技術特論 II	2	1・2	講義		2			
		ネットワークセキュリティ特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 博士(工学) 塚 田 恭 章	
		ネットワークセキュリティ特論 II	2	1・2	講義		2			
		情報ネットワーク特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(学術) 永 長 知 孝	
		情報ネットワーク特論 II	2	1・2	講義		2			
		情報通信システム工学特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 工学博士 山 本 政 宏	
		情報通信システム工学特論 II	2	1・2	講義		2			
		組込みシステム・ロボット学特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 博士(工学) 元 木 誠	
		組込みシステム・ロボット学特論 II	2	1・2	講義		2			
		医用情報工学特論	2	1・2	講義		2		非常勤講師 博士(理学) 立 野 玲 子	旧科目名 「医用画像工学特論」
		映像メディア工学特論	2	1・2	講義	2			准教授 博士(情報学) 海老根 秀 之	
		コンテンツクリエーション特論	2	1・2	講義		2			
		情報芸術特論	2	1・2	講義	2			准教授 博士(デザイン工学) 小 林 和 彦	
		映像表現特論	2	1・2	講義		2			
		コンピューターグラフィックス特論 I	2	1・2	講義	2			講 師 博士(工学) 平 野 晃 昭	
		コンピューターグラフィックス特論 II	2	1・2	講義		2			
		グラフ理論応用特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(理学) 本 橋 友 江	
		グラフ理論応用特論 II	2	1・2	講義		2			
		計算特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 博士(学術) 大 墨 礼 子	
		計算特論 II	2	1・2	講義		2			
		知能システム特論 I	2	1・2	講義	2			講 師 博士(工学) 高 橋 聰	
		知能システム特論 II	2	1・2	講義		2			
		ソフトウェア品質管理特論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 工学修士 手 塚 繁 吾	

## 建築学専攻 博士前期課程

(2022年度実績)

## 設計・計画系

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者						備考
							春学期	秋学期							
専修科目	建築・都市計画専修	建築・都市計画研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授	博士(美術)	黒田泰介	江介	指導教授	指導教授	
		建築・都市計画研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授	博士(工学)	古賀紀江	潤江	指導教授	指導教授	
必修科目	建築・都市計画専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		准教授	修士(工学)	柳澤潤	之潤	指導教授	指導教授	
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2	教授	MLA	中津秀	之秀	指導教授	指導教授	
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2		准教授	修士(工学)	柏谷淳	司淳	指導教授	指導教授	
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2	准教授	博士(工学)	酒谷粹	将粹	指導教授	指導教授	
		研究演習実験ⅠA	1	○	1	実験	2		教授	博士(美術)	黒田泰介	江介	指導教授	指導教授	
		研究演習実験ⅠB	2	○	1	実験		4	教授	博士(工学)	古賀紀江	潤江	指導教授	指導教授	
		研究演習実験ⅡA	1	○	2	実験	2		准教授	修士(工学)	柳澤潤	之潤	指導教授	指導教授	
		研究演習実験ⅡB	2	○	2	実験		4	准教授	博士(工学)	柏谷淳	司淳	指導教授	指導教授	

## 構造・生産系

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者						備考
							春学期	秋学期							
専修科目	建築構造・生産専修	建築構造・生産研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授	工学博士	高島幸洋	洋幸	指導教授	指導教授	
		建築構造・生産研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授	博士(工学)	渡部洋	洋渡			
必修科目	建築構造・生産専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		准教授	博士(工学)	神戸洋	洋渡	指導教授	指導教授	
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2	教授	博士(工学)	李祥	祥準			
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2		教授	工学博士	高島幸洋	洋幸	指導教授	指導教授	
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2	教授	博士(工学)	渡部洋	洋渡			
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		准教授	博士(工学)	神戸洋	洋渡	指導教授	指導教授	
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	准教授	博士(工学)	李祥	祥準			
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		教授	博士(工学)	高島幸洋	洋幸	指導教授	指導教授	
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	准教授	博士(工学)	李祥	祥準			

## 環境工学・設備工学系

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数	担当者			備考	
								春学期	秋学期			
専修科目 必修科目	建築設備・環境工学専修	建築設備・環境工学研究 I	2	△	1	演習	2	教授 准教授	工学博士 博士(工学) 博士(學術)	大塚雅之 遠藤智行 山口温	指導教授 指導教授	
		建築設備・環境工学研究 II	2	△	1	演習	2					
		文献研究 I A	1	○	1	演習	2					
		文献研究 I B	2	○	1	演習			2			
		文献研究 II A	1	○	2	演習	2					
		文献研究 II B	2	○	2	演習			2			
		研究実験 I A	1	○	1	実験	2					
		研究実験 I B	2	○	1	実験			4			
選択科目 全 専修		研究実験 II A	1	○	2	実験	2					
		研究実験 II B	2	○	2	実験			4			
		建築計画特論 A	2		1・2	講義	2		非常勤講師 准教授	工学博士 修士(工学)	讃井純一郎	
		建築計画特論 B	2		1・2	講義		2	教授	博士(工学)	古賀紀江	
		行動デザイン特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 准教授	博士(工学) 修士(工学)	林田和人	
		都市・地域計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 准教授	桂有生		
		建築意匠特論	3		1・2	講義		4	教授	修士(工学)	柏谷淳司	
		建築・都市デザイン方法特論	2		1・2	講義	2		准教授	博士(工学)	酒谷粹将	
選択科目 全 専修		日本近代住宅史特論	2		1・2	講義		2	2022年度休講			
		ランドスケープ特論	2		1・2	講義	2		准教授	MLA	中津秀之	
		建築再生計画特論	2		1・2	講義		2	教授	博士(美術)	黒田泰介	
		デザインスタジオ I	2		1・2	講義	4		准教授	修士(工学)	柳澤潤	
									非常勤講師	工学修士	村松基安	
		デザインスタジオ II	2		1・2	講義		4	准教授	修士(工学)	柏谷淳司	
									准教授	修士(工学)	手嶋保	
		建築構造計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 准教授	博士(工学)	瀧本哲也	配当期変更
		建築構造力学特論	2		1・2	講義	2		教授	博士(工学)	渡部洋	
		建築弾塑性学特論	2		1・2	講義		2	教授	工学博士	高島英幸	
		建築構造設計特論	2		1・2	講義	2		准教授	博士(工学)	神戸渡	
		建築構法学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 准教授	博士(工学)	平井健嗣	
		ファシリティマネジメント特論	2		1・2	講義	2					
		建築施工学特論 A	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学)	李祥準	2022年度休講	
		建築施工学特論 B	2		1・2	講義		2				
		建築材料学特論 A	2		1・2	講義	2					
		建築材料学特論 B	2		1・2	講義		2				
		建築振動学特論 A	2		1・2	講義	2		非常勤講師 准教授	博士(工学)	加藤研一	隔年開講
		建築振動学特論 B	2		1・2	講義		2	非常勤講師 准教授	工学修士	高坂隆一	
		鉄骨構造設計特論	2		1・2	講義		2	2022年度休講			

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	地 震 工 学 特 論	2	1・2	講義	2			2022年度休講	隔年開講
		複 合 構 造 特 論	2	1・2	講義		2		非常勤講師 博士(工学) 藤波 健剛	
		建 築 高 耐 久 化 工 学 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 博士(工学) 加藤 直樹	
		建 築 構 造 性 能 設 計 特 論	2	1・2	講義		2		非常勤講師 博士(工学) 大村 哲矢	
		建 築 環 境 計 画 特 論	2	1・2	講義	2			教 授 博士(工学) 遠藤 智行	
		環 境 衛 生 工 学 特 論	2	1・2	講義		2		2022年度休講	
		建 築 熱・光 環 境 工 学 特 論	2	1・2	講義		2		准教授 博士(学術) 山口 温	
		建 築 音 韻 計 画 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 博士(工学) 笹尾 博行	
		建 築 設 备 機 械 特 論	2	1・2	講義		2		2022年度休講	
		空 気 調 和 計 画 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 商船学士 鳥越 順之	配当期変更
		建 築 給 排 水 設 备 工 学 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 工学修士 村田 博道	
		建 築 給 排 水 設 备 計 画 特 論	2	1・2	講義		2		教 授 工学博士 大塚 雅之	
		建 築 設 备 自 動 制 御 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 博士(工学) 柴田 克彦	
		建 築 電 気 設 备 工 学 特 論	2	1・2	講義		2		2022年度休講	
		环 境 管 理 特 論	2	1・2	講義	2			非常勤講師 工学修士 松野 信夫	
		建 築 防 災 工 学 特 論	2	1・2	講義		2		2022年度休講	
		建 築 土 特 論	2		1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 古賀 紀江 教 授 工学博士 高島 英幸 准教授 修士(工学) 柳澤 潤 准教授 博士(学術) 山口 潤温 准教授 博士(工学) 李祥 準	オムニバス形式 夏期集中
		インターンシップ*	4		1・2	実習	春		教 授 博士(工学) 遠藤 智行 教 授 博士(工学) 渡部 洋 准教授 MLA 中津 秀之	春期集中 夏期集中

\*インターンシップ履修上の注意事項

2～3月に実習体験をした者は、翌年度4月に「【春学期科目】インターンシップ（春期集中）」または「【秋学期科目】インターンシップ（夏期集中）」を履修登録する。

8～9月に実習体験を予定する者は、あらかじめ同年4月に「【秋学期科目】インターンシップ（夏期集中）」を履修登録する。なお、春期集中科目と夏期集中科目を両方履修登録することはできないので、充分履修計画を立てること。

## 土木工学専攻 博士前期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科	構造工学専修	構造工学研究 I 【J / E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原武嗣	指導教授
		構造工学研究 II 【J / E】	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 中藤誠二	指導教授
	コンクリート工学専修	コンクリート工学研究 I 【J / E】	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 出雲淳一	指導教授
		コンクリート工学研究 II 【J / E】	2	△	1	演習		2		
	地盤工学専修	地盤工学研究 I 【J / E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 規矩大義	指導教授
		地盤工学研究 II 【J / E】	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 菅野高弘	指導教授
	水工学専修	水工学研究 I 【J / E】	2	△	1	演習	2		准教授 博士(工学) 福谷陽	指導教授
		水工学研究 II 【J / E】	2	△	1	演習		2		
必修科目	防災工学専修	防災工学研究 I 【J / E】	2	△	1	演習	2		教授 理学修士 前田直樹	指導教授
		防災工学研究 II 【J / E】	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 鳥澤一晃	指導教授
	全専修	文献研究 I A 【J / E】	1	○	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原武嗣	指導教授
		文献研究 I B 【J / E】	2	○	1	演習		2		
		文献研究 II A 【J / E】	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 中藤誠二	指導教授
		文献研究 II B 【J / E】	2	○	2	演習		2	教授 工学博士 出雲淳一	指導教授
		研究実験 I A 【J / E】	1	○	1	演習	2		教授 理学修士 前田直樹	指導教授
		研究実験 I B 【J / E】	2	○	1	演習		4	准教授 博士(工学) 福谷陽	指導教授
		研究実験 II A 【J / E】	1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 菅野高弘	指導教授
		研究実験 II B 【J / E】	2	○	2	演習		4	准教授 博士(工学) 鳥澤一晃	指導教授

## 科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	耐震構造学特論【J/E】	2	1・2	講義		2		教 授 博士(工学) 北 原 武 嗣	
		構造設計学特論	2	1・2	講義	2				
		橋梁工学特論	2	1・2	講義	2			教 授 博士(工学) 中 藤 誠 二	
		風工学特論	2	1・2	講義		2			
		コンクリート工学特論	2	1・2	講義	2			教 授 工学博士 出 雲 淳 一	
		コンクリート構造特論	2	1・2	講義		2			
		地盤耐震工学特論	2	1・2	講義		2	2022年度休講		
		地盤防災工学特論【J/E】	2	1・2	講義		2	教 授 博士(工学) 規 矩 大 義		
		Advanced Study in Geotechnical Engineering	2	1・2	講義		2	客員教授 工学博士 東 畑 郁 生		
		地震地盤工学特論【J/E】	2	1・2	講義	2				
		地盤工学特論	2	1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 規 矩 大 義		
		地震学特論	2	1・2	講義	2		教 授 理学修士 前 田 直 樹		
		地震工学特論	2	1・2	講義		2			
		Advanced Engineering for Earthquake Disaster Prevention	2	1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 菅 野 高 弘	夏期集中 ＊1 参照	
		地震防災工学特論	2	1・2	講義	2	2022年度休講			
		Advanced Study in Geotechnical Numerical Analysis	2	1・2	講義		2	2022年度休講		
		Advanced Study in Aseismic Engineering	2	1・2	講義	2	2022年度休講			
		災害リスク工学特論	2	1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 鳥 澤 一 晃		
		都市防災学特論	2	1・2	講義		2			
		建設マネジメント工学特論	2	1・2	講義		2	客員教授 博士(工学) 関 雅 樹	冬期集中	
		海岸工学特論	2	1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 福 谷 陽		
		流体力学特論	2	1・2	講義		2			
		Advanced Port Planning	2	1・2	講義		2	教 授 博士(工学) 菅 野 高 弘	冬期集中	
		インターンシップ I	2	1・2	実習	春		教 授 博士(工学) 規 矩 大 義	夏期集中	
		インターンシップ II	2	1・2	実習		秋			

## 科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

英語で表記されている科目は、授業を全て英語で行う。

＊1：「地震防災工学特論」を修得した者は「Advanced Engineering for Earthquake Disaster Prevention」は履修できない。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数	担当者		備考
								春学期	秋学期	
専修科目	有機・高分子化学専修	有機・高分子化学研究 I	2	△	1	演習	2	教授 博士(工学) 香西博明 准教授 博士(理学) 山平多恵子		指導教授 指導教授
		有機・高分子化学研究 II	2	△	1	演習	2	教授 理学博士 松井和則*		指導教授
	無機材料・固体物理化学専修	無機材料・固体物理化学研究 I	2	△	1	演習	2	教授 博士(工学) 濱上寿一		指導教授
		無機材料・固体物理化学研究 II	2	△	1	演習	2	教授 工学博士 小岩一郎 准教授 博士(理学) 友野和哲		指導教授
	エレクトロニクス実装工学専修	電気化学・表面工学研究 I	2	△	1	演習	2	教授 農学博士 川原一芳 教 授 博士(農学) 海老原充一		指導教授 指導教授
		電気化学・表面工学研究 II	2	△	1	演習	2	教 授 博士(人間環境学) 飯田博一 教 授 博士(理学) 清水由巳 教 授 博士(理学) 近藤陽一 准教授 博士(歯学) 尾之上さくら 講 師 博士(理学) 新家弘也		指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授
	生命科学専修	生命科学研究 I	2	△	1	演習	2	教 授 博士(生物資源科学) 中山良一		指導教授
		生命科学研究 II	2	△	1	演習	2	教 授 博士(生物資源科学) 中山良一		指導教授
材料・表面工学専修	環境工学専修	環境工学研究 I	2	△	1	演習	2	准教授 博士(工学) 鎌田素之		指導教授
		環境工学研究 II	2	△	1	演習	2	講 師 博士(生物資源科学) 中山良一		
	材料・表面工学専修	材料・表面工学研究 I	2	△	1	演習	2	教 授 博士(工学) 渡辺充広 教 授 博士(工学) 田代彦雄 教 授 博士(工学) 薗柱亨		指導教授 指導教授 指導教授
		材料・表面工学研究 II	2	△	1	演習	2	教 授 博士(工学) 渡辺充広 教 授 博士(工学) 田代彦雄 教 授 博士(工学) 薗柱亨		指導教授 指導教授 指導教授
必修科目	全専修	文献研究 I A	1	○	1	演習	2	教 授 博士(工学) 香西博明 准教授 博士(理学) 山平多恵子		指導教授 指導教授
		文献研究 I B	2	○	1	演習	2	教 授 理学博士 松井和則*		指導教授 指導教授
		文献研究 II A	1	○	2	演習	2	教 授 工学博士 小岩一郎 准教授 博士(理学) 友野和哲		指導教授 指導教授
		文献研究 II B	2	○	2	演習	2	教 授 農学博士 川原一芳 教 授 博士(農学) 海老原充一		指導教授 指導教授
		研究実験 I A	1	○	1	実験	2	教 授 博士(理学) 飯田博一 教 授 博士(理学) 清水由巳		指導教授 指導教授
		研究実験 I B	2	○	1	実験	4	教 授 博士(工学) 鎌田素之 准教授 博士(歯学) 尾之上さくら		指導教授 指導教授
		研究実験 II A	1	○	2	実験	2	教 授 博士(工学) 渡辺充広 教 授 博士(工学) 田代彦雄 教 授 博士(工学) 薗柱亨		指導教授 指導教授 指導教授
		研究実験 II B	2	○	2	実験	4	講 師 博士(理学) 新家弘也 講 師 博士(生物資源科学) 中山良一		指導教授 指導教授

【小田原】は小田原キャンパスで開講

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考		
							春学期	秋学期				
選 択 科 目	全 専 修	有機合成化学特論 I	2		1・2	講義	2		2022年度休講			
		有機合成化学特論 II	2		1・2	講義		2				
		機能性高分子材料化学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 香 西 博 明	隔年開講		
		機能性高分子材料化学特論 II	2		1・2	講義		2				
		薬品化学特論 I	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 山 平 多惠子			
		薬品化学特論 II	2		1・2	講義		2				
		無機合成化学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 濱 上 寿 一			
		無機合成化学特論 II	2		1・2	講義		2				
		分光化学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 理学博士 松 井 和 則*			
		分光化学特論 II	2		1・2	講義		2				
		先進表面工学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(工学) 渡 辺 充 広	旧科目名 「表面工学講義Ⅰ」 【小田原】		
		先進表面工学特論 II	2		1・2	講義		2				
		電気化学システム特論 I	2		1・2	講義	2		2022年度休講			
		電気化学システム特論 II	2		1・2	講義		2				
		エレクトロニクス実装工学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 工学博士 小 岩 一 郎			
		エレクトロニクス実装工学特論 II	2		1・2	講義		2				
		電気化学分析システム特論 I	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 友 野 和 哲			
		電気化学分析システム特論 II	2		1・2	講義		2				
		生物物理学特論 I	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論 I」で振替					
		生物物理学特論 II	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論 II」で振替					
		糖脂質科学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 農学博士 川 原 一 芳			
		糖脂質科学特論 II	2		1・2	講義		2				
		化学感覚特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(農学) 海老原 充			
		化学感覚特論 II	2		1・2	講義		2				
		生命医薬科学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(人間・環境学) 飯 田 博 一			
		生命医薬科学特論 II	2		1・2	講義		2				
		真菌学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(理学) 清 水 由 巳			
		真菌学特論 II	2		1・2	講義		2				
		植物生理学特論 I	2		1・2	講義	2		教 授 博士(理学) 近 藤 陽 一			
		植物生理学特論 II	2		1・2	講義		2				
		医療衛生学特論 I	2		1・2	講義	2		准教授 博士(歯学) 尾之上 さくら			
		医療衛生学特論 II	2		1・2	講義		2				
		藻類バイオマス特論 I	2		1・2	講義	2		講 師 博士(理学) 新 家 弘 也			
		藻類バイオマス特論 II	2		1・2	講義		2				

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	化学工学特論 I	2	1・2	講義	2			講師 <small>博士(生物資源科学)</small> 中山 良一	2022年度休講	
		化学工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		水環境工学特論 I	2	1・2	講義	2			准教授 <small>博士(工学)</small> 鎌田 素之		
		水環境工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		環境化学特論 I	2	1・2	講義	2			非常勤講師 <small>理学博士</small> 大柿 真毅		
		環境化学特論 II	2	1・2	講義		2				
		無機機能材料特論 I	2	1・2	講義	2			非常勤講師 <small>理学博士</small> 大柿 真毅		
		無機機能材料特論 II	2	1・2	講義		2				
		セラミックス特論	2	1・2	講義	2			2022年度休講		
		触媒化学特論	2	1・2	講義		2				
		化学システム工学特論 I	2	1・2	講義	2			2022年度休講		
		化学システム工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		環境システム化学特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 <small>博士(工学)</small> 佐野 慶一郎		
		環境システム化学特論 II	2	1・2	講義		2				
		環境材料工学特論 I	2	1・2	講義	2			非常勤講師 <small>博士(工学)</small> 大越 昌幸		
		環境材料工学特論 II	2	1・2	講義		2				
		半導体材料工学特論	2	1・2	講義		2		非常勤講師 <small>博士(工学)</small> 笠井 直記		
		外国語講読特論 I	2	1・2	講義	2					
		外国語講読特論 II	2	1・2	講義		2		非常勤講師 <small>博士(理学)</small> クリストファー・コルドニエ		
		インターナシップ	2	1・2	実習		秋	2022年度休講		夏期集中  旧科目名 【表面工学講座】 【小田原】	
		材料・表面工学特論	2	1・2	講義	2					
		機能性薄膜特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 <small>博士(工学)</small> 田代 雄彦	【小田原】	
		機能性薄膜特論 II	2	1・2	講義		2				
		電気・電子材料工学特論 I	2	1・2	講義	2			教 授 <small>博士(工学)</small> 蘆柱 亨	【小田原】	
		電気・電子材料工学特論 II	2	1・2	講義		2				

【小田原】は小田原キャンパスで開講

※2023年3月定年退職予定

## 総合工学専攻 博士後期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科	機械工学専修	計測・制御工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授工学博士 金田徹	指導教授
		機械情報工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 小松督	指導教授
		流体工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 宮永宜典	指導教授
		熱工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 辻森淳	指導教授
		材料・生産工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 柳生裕聖	指導教授
専修科	電気工学専修	電子物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2022年度休講	
		計算物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 島田和宏	指導教授
		高電圧工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 植原弘明	指導教授
		電気エネルギー工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 中野幸夫	指導教授
		情報システム工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授学術博士 錢飛	指導教授
専修科	健康・人間医工学専修	生体情報学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 篠弘幸	指導教授
	数物科学専修	数物科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授工学博士 山田泰一	指導教授
		量子多体系物理学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	准教授博士(理学) 船木靖郎	指導教授
		高エネルギー天文学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	准教授博士(理学) 中嶋大	指導教授
	情報学専修	電波・通信工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授工学博士 水井潔	指導教授
		情報セキュリティ特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 塚田恭章	指導教授
		情報メディア工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2022年度休講	
		情報システムデザイン特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 元木誠	指導教授
目	土木工学専修	構造工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 北原武嗣	指導教授
		コンクリート工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授工学博士 中藤誠二	指導教授
		地盤工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 規矩大義	指導教授
応用化学専修	無機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授理学博士 松井和則*	指導教授	
	表面物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 濱上寿一	指導教授	
	生命機能科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授工学博士 小岩一郎	指導教授	
生命科学専修	生命有機化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授農学博士 川原一芳	指導教授	
	植物分子生物学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(理学) 近藤陽一	指導教授	
	真菌資源科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(理学) 清水由巳	指導教授	
材料・表面工学専修	材料・表面工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 渡辺充広 教授博士(工学) 田代雄彦 教授博士(工学) 蘆柱亨	指導教授 [小田原] 指導教授 [小田原] 指導教授 [小田原]	
	有機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授博士(工学) 香西博明	指導教授 [小田原]	

【小田原】は小田原キャンパスで開講

種別	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
選 択 科 目	超精密計測情報システム特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 金田 徹	
	ロボット工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 小松 習	
	トライボロジー特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 宮永 宜典	
	熱工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 辻森 淳	
	材料・加工物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 柳生 裕聖	
	電子デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	分子エレクトロニクス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	計算物性工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 島田 和宏	
	高電圧工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 植原 弘明	
	大規模分散システム構成論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 学術博士 錢飛	
	生体情報学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 篠弘 幸	
	電気エネルギー工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 中野 幸夫	
	光デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 石坂 雄平	
	原子核物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 山田 泰一	
	量子多体系物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(理学) 船木 靖郎	
	高エネルギー天文学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(理学) 中嶋 大	
	通信システム工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 山本 政宏	
	情報通信工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 水井 潔	
	情報セキュリティ特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 塚田 恭章	
	組込みシステム・ロボット工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 元木 誠	
	耐震構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 北原 武嗣	
	風工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 中藤 誠二	
	コンクリート工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 出雲 淳一	
	地盤工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 規矩 大義	
	地震工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 理学修士 前田 直樹	
	水防災工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 福谷 陽	
	都市防災学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 鳥澤 一晃	
	無機素材化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 濱上 寿一	
	物性化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 理学博士 松井 和則*	
	エレクトロニクス実装特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 小岩 一郎	
	化学工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	水環境特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 鎌田 素之	
	環境化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	触媒化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	生命機能科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 農学博士 川原 一芳	

【小田原】は小田原キャンパスで開講

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
選 択 科 目	生命有機化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(人間・環境学) 飯田 博一	
	動物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(農学) 海老原 充	
	植物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 近藤 陽一	
	真菌資源科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(理学) 清水 由巳	
	材料・表面工学特殊講義Ⅰ	4		1・2・3	講義	2	2	非常勤講師 博士(理学) クリストファー・コルドニエ	【小田原】
	材料・表面工学特殊講義Ⅱ	4		1・2・3	講義	2	2	講師 博士(工学) 梅田 泰	【小田原】
	高分子材料化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 香西 博明	【小田原】
	表面処理工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 渡辺 充広	【小田原】
	表面解析工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 田代 雄彦	【小田原】
	電気・電子材料工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 盧柱 亨	【小田原】

【小田原】は小田原キャンパスで開講

※2023年3月定年退職予定

## 建築学専攻 博士後期課程

(2022年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科 目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
専 修 科 目	建築・都市計画学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 古賀紀江	指導教授
	建築構造学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 高島英幸	指導教授
	建築材料・施工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2022年度休講	
	建築設備・環境工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 大塚雅之 教授 博士(工学) 遠藤智行	指導教授 指導教授
	建築再生計画特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(美術) 黒田泰介	指導教授
選 択 科 目	建築計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 古賀紀江	
	都市・地域計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築デザイン特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 修士(工学) 柳澤潤	
	建築史特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 渡部洋	
	建築材料特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築施工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	環境設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	都市衛生工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	人間環境工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築電気設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築給排水設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 大塚雅之	
	建築構造計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2022年度休講	
	建築弾塑性論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 高島英幸	
	建築空調設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 遠藤智行	
	建築再生計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(美術) 黒田泰介	

# 6 看護学研究科(昼夜開講制)

## 1. 募集人數

研究科	専攻	入学定員
		修士課程
看護学研究科	看護学専攻	8

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験で募集します。

## 2. 出願資格

### 【修士課程】

#### (1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

#### (2) 学内推薦入学試験

次のいずれかに該当する者

- ①本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ②本学を卒業後、3年以上を経た者で、研究意欲及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

#### (3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、3年以上の実務経験を有する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

## 3. 事前協議について

看護学研究科を志望する者は、出願に先立って志望する研究分野の指導教授と以下の日程により事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、及び「履歴票」(本要項とじ込みの用紙。出願時に必要なため、事前協議では写しを提出)を申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月26日(火)		
1月募集	2023年 1月13日(金)	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。

#### 4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。  
(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)  
(※印は巻末にとじ込みの用紙)

出願書類		備考
1	志願票	P.100、101「志願票記入例」参照
2	※履歴票	
3	写真(2枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日より3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入
4	成績証明書	注1、3]
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者 は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見込み)証明書 及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類
6	※志望理由書	A4判の用紙1枚程度 本要項とじ込みの表紙をつけて提出
7	※研究計画書	2,000字程度
8	看護師等の免許証等の写し (免許取得者のみ)	看護師、助産師、保健師のうち保有する免許証すべての写し (A4判に縮小すること)
9	出願資格認定書 (該当者のみ)	本研究科における出願資格審査により資格認定を受けた者

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

#### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、書類審査を総合して行います。

## 6. 試験科目及び試験時間割

### (1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	出願時に「(別表①) 試験科目(分野・領域)表」から1分野1領域を選択
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書・電子辞書持込可
面接	100点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

### (2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

### (3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書・電子辞書持込可
面接	200点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

(別表①) 試験科目(分野・領域)表

分野	領域
看護管理学	看護管理学
生活支援看護学	母性・小児看護学
	高齢者・在宅看護学
療養支援看護学	療養支援看護学

## 7. 試験場 (P. 98、99参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス：図書館棟1F

〒236-8503 横浜市金沢区六浦東1-50-1 045(786)5653

(学部庶務課(人間共生学部、栄養学部、教育学部、看護学部))

# ◎ 看護学研究科授業科目表

看護学専攻 修士課程

(2021年度実績)

○印：必修科目

△印：選択科目

科目区分		授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	担当者(2022年度)		授業形態	研究指導
共通科目	I	看護研究方法論	2	○	1	教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	永西留森 岡畑實尾 美詩美 江乃沙 弓子江 久寿美 壽美江 乃沙	講義	○○
		看護理論	2	○	1	教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	島木勝佐 田下川藤 佳里由亞 子美月 佳子美 佳子美 佳子美 佳子美	講義	○
		看護管理論	2	△	1	教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	平渡 田辺 明真 美弓 明真 美弓 美弓 美弓	講義	○
		看護継続教育学	2	△	1	教授 准教授 准教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	青平黒鈴 木田田木 由美篤恵 美志子 美志子 美志子 美志子 美志子	講義	○○
		看護政策論	2	△	1	教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松 坂齋石小高橋濱松	梨藤田池橋本田邑 訓昌智徳美安岐子 宏子美穂子 美穂子 美穂子 美穂子 美穂子 美穂子	講義
科目	II	看護と法律	1	△	1	非常勤講師	永嶋義	講義	
		看護と経済	1	△	1	教授 非常勤講師	宮本守貴	講義	
		看護と環境	1	△	1	教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	大古遠中 塚賀藤津谷口 雅紀智秀淳 江行之司温	講義	
専門科目	看護管理学分野	看護管理学特論	1	△	1	教授	平田明美	講義	○
		看護管理学特講 I	2	△	1	教授	平田明美	講義	○
		看護管理学特講 II	2	△	1	教授 准教授 非常勤講師 非常勤講師	平内河熊 田山野谷 明繁秀雅 一美	講義	○
		看護管理学特講 III	2	△	1	教授	平田明美	講義	○
		看護管理学演習	2	△	1	教授 准教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○
		看護管理学特別演習	2	△	1	教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○
		看護管理学特別研究 I (春)	5	△	2	教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○
		看護管理学特別研究 I (秋)	5	△	2	教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○
		看護管理学特別研究 II (春)	5	△	2	教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○
		看護管理学特別研究 II (秋)	5	△	2	教授 准教授 准教授	平渡田辺明真 平渡田辺明真 平渡田辺明真	演習	○

科目区分		授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	担当者(2022年度)		授業形態	研究指導	
専門科目	生活支援看護学領域	生活支援看護学特論	1	△	1	教授 教授 教授 教授 教授 准教授	島坂青木由美 永永齊訓留 木田藤寿 田畠畑美江	多佳子 薰恵弓子 弓子 美江	講義	○○○
		母性・小児看護学特講 I	2	△	1	教授 教授 教准教授 准任講師	永坂勝飯 田梨川尾	弓 薰美沙	講義	○○
		母性・小児看護学特講 II	2	△	1	教授 教授 教准任講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	永坂飯池高豊廣渡 田梨尾川橋島瀬邊	弓薰沙明泉昭美子 弓美幸輝	講義	○○
		母性・小児看護学特講 III	2	△	1	教授 教授 教准教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	坂永勝棒山大 梨田川田本村	薰弓美子子幸 由明詩在	講義	○○
		母性・小児看護学演習	2	△	1	教授 教授 教准教授 准任講師	永坂勝飯 田梨川尾	弓薰美沙	演習	○○
		母性・小児看護学特別演習	2	△	1	教授 教授 教准教授 准任講師	永坂勝飯 田梨川尾	弓薰美沙	演習	○○
	高齢者・在宅看護学領域	高齢者・在宅看護学特講 I	2	△	1	教授 教授 教准教授 准教授	齊青留森 藤木畠實	子恵江乃 美江	講義	○
		高齢者・在宅看護学特講 II	2	△	1	教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	青重高松 木田橋崎	惠美泉穂 由絵実	講義	○
		高齢者・在宅看護学特講 III	2	△	1	教授 教授 教非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	青齋大西平棒山 木藤村追野田本	子幸愛香子子 由訓在 美理明詩	演習	○
		高齢者・在宅看護学演習	2	△	1	教授 教授	青齋 木藤	由美恵子 訓	演習	○
		高齰者・在宅看護学特別演習	2	△	1	教授 教授	青齋 木藤	由美恵子 訓	演習	○

科目区分	授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	担当者(2022年度)	授業形態	研究指導
生活支援看護学分野 専門科目	生活支援看護学特別研究Ⅰ（春）	5	△	2	弓薫美沙恵子子江乃 由美由訓多寿詩 永坂勝飯青齋島留森 田梨川尾木藤田畑實	演習	○○ ○
	生活支援看護学特別研究Ⅰ（秋）	5	△	2	弓薫美沙恵子子江乃 由美由訓多寿詩 永坂勝飯青齋島留森 田梨川尾木藤田畑實	演習	○○ ○
	生活支援看護学特別研究Ⅱ（春）	5	△	2	弓薫美沙恵子子江乃 由美由訓多寿詩 永坂勝飯青齋島留森 田梨川尾木藤田畑實	演習	○○ ○
	生活支援看護学特別研究Ⅱ（秋）	5	△	2	弓薫美沙恵子子江乃 由美由訓多寿詩 永坂勝飯青齋島留森 田梨川尾木藤田畑實	講義	○○ ○
療養支援看護学分野 専門科目	療養支援看護学特論	1	△	1	木下里久美子	講義	○○
	療養支援看護学特講Ⅰ	2	△	1	木下里久美子	講義	○○
	療養支援看護学特講Ⅱ	2	△	1	西岡下里久美子	講義	○○
	療養支援看護学特講Ⅲ	2	△	1	木下里久美子	講義	○○
	療養支援看護学演習	2	△	1	西岡下里久美子	演習	○○
	療養支援看護学特別演習	2	△	1	木下里久美子	演習	○○
	療養支援看護学特別研究Ⅰ（春）	5	△	2	木下里久美子	演習	○○
	療養支援看護学特別研究Ⅰ（秋）	5	△	2	木下里久美子	演習	○○
	療養支援看護学特別研究Ⅱ（春）	5	△	2	木下里久美子	演習	○○
	療養支援看護学特別研究Ⅱ（秋）	5	△	2	木下里久美子	演習	○○

**【履修方法】**

1. 学生は入学の際、専門科目の専門領域4領域のうちから1領域を選択し、当該領域の担当教員のうちから大学院看護学研究科委員会において決定された主指導教員及び副指導教員の指導のもとに所定の研究を行う。
2. 授業科目については、主指導教員の指導により履修するものとする。
3. 授業科目については、開講科目の中から、以下の区分に従って2年以上にわたって31単位以上を履修し、修得しなければならない。
  - (1) 共通科目

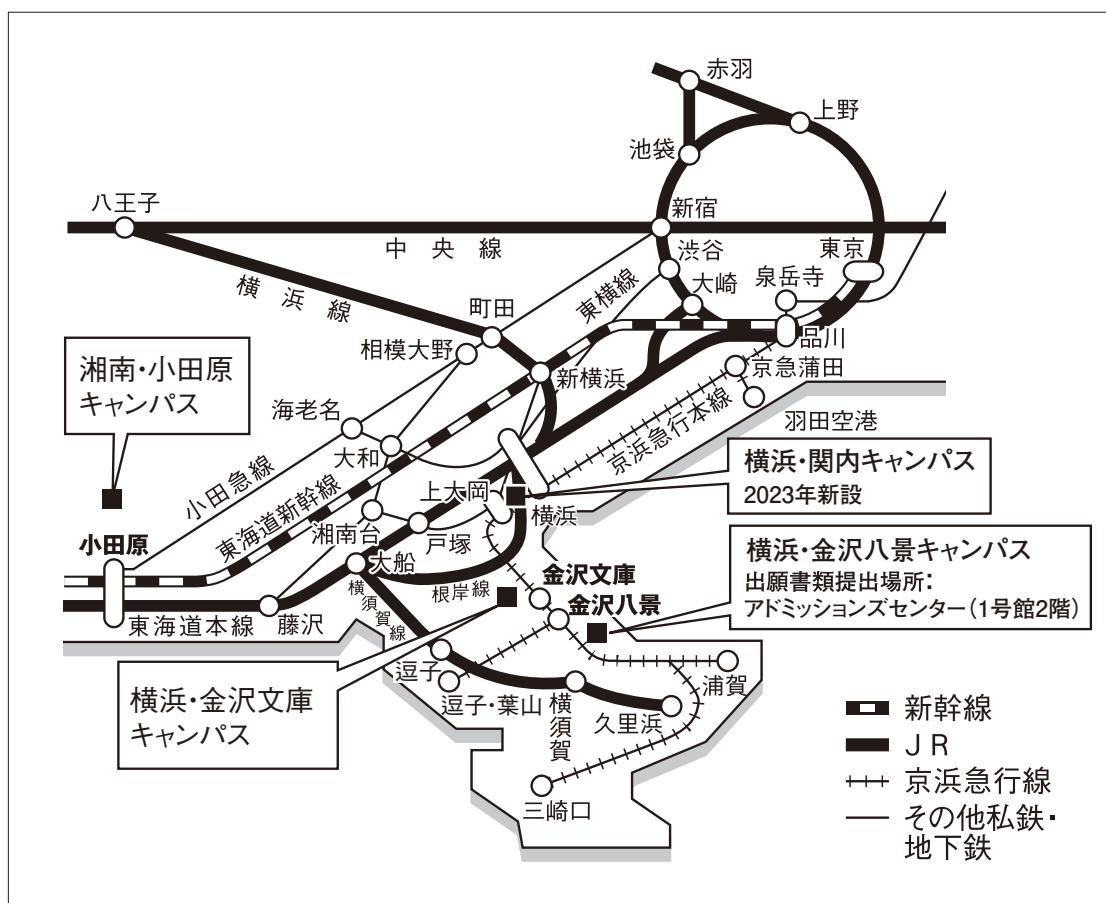
共通科目Ⅰ 2科目4単位必修  
1科目2単位選択必修（「看護管理論」「看護継続教育学」のうち、いずれか1科目）
  - (2) 専門科目

専攻する領域が配置されている分野の配当科目 8科目21単位必修  
・〈看護管理学〉〈母性・小児看護学〉〈高齢者・在宅看護学〉〈療養支援看護学〉の4領域のうち1領域を選択し、同領域の5科目を履修する。  
・「特論」、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」については、選択した領域が属する分野の科目を履修する。
  - (3) 上記(1)及び(2)以外に4単位以上選択必修  
・共通科目Ⅰ・Ⅱまたは、専門科目他分野・他領域の特講Ⅰ～Ⅲから4単位選択。ただし、共通科目Ⅱから必ず1単位以上を履修すること。
4. 各年次で履修できる単位の上限は28単位とする。
5. 年度初めに、その年度の春学期及び秋学期に履修するすべての受講科目を教務課に申請し、所定期日までに履修登録を完了しなければならない。
6. 年度初めに登録した秋学期履修科目を変更する場合は、変更理由書に主指導教員の確認印を得て、所定期日までに履修登録変更届を提出しなければならない。

**【修了要件】**

看護学研究科修士課程看護学専攻に2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査、及び最終試験に合格すること。

# 7 キャンパス案内図



## 2023年4月からの修学キャンパスの変更について

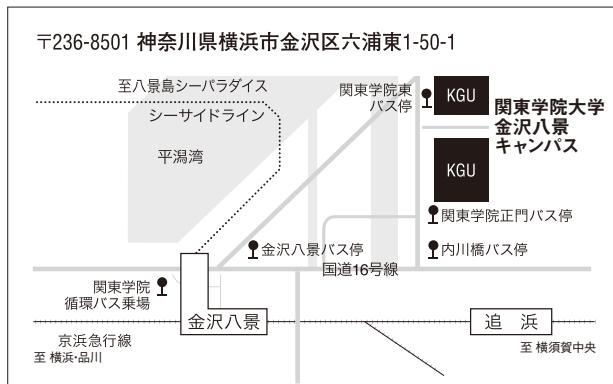
関東学院大学大学院は、横浜・金沢八景及び横浜・金沢文庫の2つのキャンパスを修学地としていますが、横浜・関内キャンパスの開設に伴い、2023年4月から全学的なキャンパス再編を予定しています。2023年4月からは、下記の通り修学地が変更となる予定です。

[2023年3月まで]	[2023年4月から]
—	横浜・関内キャンパス 経游学研究科経営学専攻、法学研究科
横浜・金沢八景キャンパス	
経游学研究科、法学研究科、 工学研究科*、看護学研究科	文学研究科、経游学研究科経済学専攻、 工学研究科*、看護学研究科
横浜・金沢文庫キャンパス	
文学研究科	—

\*一部は小田原で開講

# アクセス

## 横浜・金沢八景キャンパス



- 下車駅 ○京浜急行線「金沢八景駅」(快特・特急停車駅)またはシーサイドライン「金沢八景駅」
- 主な駅から「金沢八景駅」までの所要時間



### ●「金沢八景駅」からキャンパスまで

「金沢八景駅」から徒歩約15分。バスを利用する場合は、「金沢八景駅」バス停①のりばから京浜急行バス(関東学院循環)《運休期間あり》で経済、法、工学研究科は「関東学院正門」下車。看護学研究科は、「関東学院東」下車。  
または、「金沢八景」バス停(国道)のりばから京浜急行バス(4系統)で約5分「内川橋」下車、徒歩約2分。

## 横浜・金沢文庫キャンパス



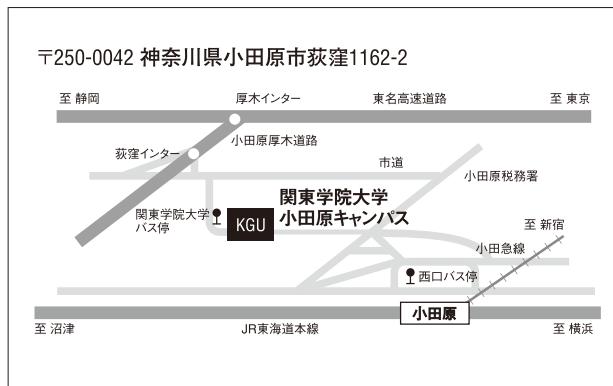
- 下車駅 ○京浜急行線「金沢文庫駅」(快特・特急停車駅)
- 主な駅から「金沢文庫駅」までの所要時間



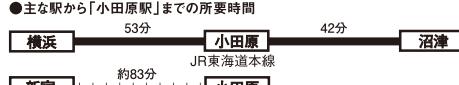
### ●「金沢文庫駅」からキャンバスまで

「金沢文庫駅」西口バス停から京浜急行バス(関東学院大学金沢文庫キャンバス行または野村住宅センター行)で約12分、ともに終点下車、徒歩約2分。

## 湘南・小田原キャンパス



- 下車駅 ○JRまたは小田急線「小田原駅」
- 主な駅から「小田原駅」までの所要時間



### ●「小田原駅」からキャンバスまで

「小田原駅」西口から徒歩約18分。バスを利用する場合は、「小田原駅」西口バス停から伊豆箱根鉄道バス(佐伯眼科・関東学院大学行)で約8分「関東学院大学」下車。

# 8 志願票記入例

A票

[A票表面]

## 2023年度 関東学院大学 大学院 志願票

濁点、半濁点も  
1文字とする。

外国人のみ記入。  
姓と名の間は  
1マスあける。

月日が一ケタの  
場合は、頭に0  
をつける。

出身大学・学部  
などは、正確に。

志望する専攻、  
募集期を正しく  
マークする。

A票はHBのシャーペンシルで記入してください。  
裏面も忘れずに記入してください。  
マーク欄は塗りつぶしてください。また、折り曲げたり記入欄以外の部分を汚さないようにしてください。

### ■志願者情報

\*姓と名の間を1マスあけて記入してください。濁点・半濁点は次の枠内に記入。

カナ	カ	ント	ウ	マ	ナ	フ	.					
----	---	----	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--

\*姓と名の間を1マスあけて記入してください。

漢字	関	東	学									
----	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

\*外国人のみ記入。姓と名の間を1マスあけて記入してください。

英字												
氏名												

生年月日 (西暦)	2	0	0	0	年	1	0	月	0	6	日	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---------------------------------------

電話番号 (自宅)	045- 786 - 7019	電話番号 (携帯)	090- 1234 - 5678
--------------	-----------------	--------------	------------------

現住所	郵便番号	2	3	6	-	8	5	0	1					
	都道府県	神奈川	都道府県		市区町村	横	浜	市	金	沢	区			
	地名・番地	六浦	東	1	-	5	0	-	1					
	建物名・部屋番号等													

\*1マスに1文字ずつ左詰めで記入してください。マスに入りきらない場合は建物名を省略し、記入してください。

### ■出願資格(出願資格としての学歴を記入すること)

卒業・修了 (見込)年月 (西暦)	2	0	2	3	年	0	3	月
-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---

出身大学・ 大学院等名	関東学院大学
出身学部・ 研究科等名	理工学部
出身学科/コース 専攻等名	電気・電子コース

出身大学区分				大学院出身者	本学出身者	外国籍 (外国人のみ マーク)
国立	公立	私立	その他	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### ■志望課程・研究科・専攻

課程	専攻/コース	8月募集	1月募集	課程	専攻・専修	8月募集	1月募集
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
博士前期・修士	英語英米文学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	英語英米文学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	比較日本文化専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	比較日本文化専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	社会学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	経済学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経済学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	経営学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	経営学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	法学専攻(研究者養成コース)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	法学専攻(専修コース)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(機械工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	機械工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(電気工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	電気工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(健康・人間医学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	情報学専攻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(数物科学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	建築学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(情報学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	土木工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(土木工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	物質生命科学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(応用化学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	看護学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合工学専攻(生命科学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				総合工学専攻(材料・表面工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				建築学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

\*裏面も忘れずに記入してください。

「UCARO」と  
の出願連携で  
必要になるの  
で、必ず控え  
ること。

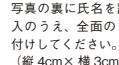
※出願番号

1234567

\*出願番号は、「UCARO(ウカロ)」から  
受験票を印刷する際、入力が必要となりま  
すので、控えておいてください。

裏面に氏名を記  
入のうえ、はが  
れないよう、  
しっかりとのり  
付け。

写真貼付欄



写真の裏に氏名を記  
入のうえ、全面のり  
付けしてください。  
(縦4cm×横3cm)

入学検定料

¥35,000-



収納印がないと  
検定料の支  
払いが確認で  
きません。  
(本学学生及  
び卒業生は検  
定料免除で  
す。)

[A票裏面]

■入試区分

一般	学内推薦	社会人	社会人推薦	外国人留学生	公募制推薦	英語検定 有資格者特別	法科大学院 修了者特別	新司法試験 合格者特別
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

■希望指導教授、試験科目

○希望指導教授(全員記入する)

希望指導教授

金沢花子教授

○試験科目(該当者のみ記入する)

経済学研究科(博士後期課程)

法学研究科

工学研究科

文学研究科

経済学研究科(博士前期課程)

看護学研究科

①回路理論

②コンピュータシステム

①

各研究科、「試験科目と時間割」を確認して、記入すること。

外国語科目

英語 ドイツ語 フランス語 中国語 朝鮮語 日本語 英語・ドイツ語 英語・フランス語 ミクロンジ語

試験科目免除

外国語 専門科目

※看護学研究科は1領域(1科目)のみ記入してください。

※免除の条件を満たす者は免除科目にマークしてください。

→本学へ提出

B票

電信扱		振込依頼書				(取扱店保存)		科 目	*
〔B票〕 2023年度 入学検定料		金融機関で切りはなしてください				※印欄は記入しないでください。			
依頼日	令和4年8月1日			振込指定	電信扱	手数料			
振込先銀行	指定期行 取りまとめ店	1	三井住友銀行 横浜中央支店	普通	3 0 8 1 1 2 0	金額	¥ 3 5 0 0 0		
受取人	口座名	2	横浜銀行 追浜支店	普通	1 0 6 4 4 9 7	内			
ガク)カントウガクイン 学校法人 関東学院									
関東学院大学 入学検定料 TEL 045(786)7019									
依頼人	出願番号	志願者氏名(カタカナ)							
	1234567	カントウ マナブ							
志願者氏名 (漢字)	関東学								
住所	〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL 045(786)7019								
金融機関取扱期限日 2023年3月16日(水)									

→金融機関に提出(本学学生及び卒業生は検定料の払い込みは必要ありません。A票から切り離さずに、そのままご提出ください。)

C票

〔C票〕本人保存 2023年度関東学院大学 入学検定料振込金受取書	
依頼日	令和4年8月1日
受取人	関東学院大学
振込先銀行	横浜銀行 追浜支店
金額	¥ 3 5 0 0 0
手数料	
志願者氏名	関東学
※出願番号	1234567
上記のとおり入学検定料として領収いたしました。 ※出願番号は、「UCARO(アカロ)」から受験票を印刷する際、入力が必要となりますので、控えておいてください。	
関東学院大学	
取扱金融機関受取印 3 (入学検定料)	

→本人保存  
(大学に提出された場合、返還しません。)



# 関東学院大学大学院 事前協議申込書

年 月 日

フリガナ	
氏名	

学籍番号	※		ゼミ・ 研究室名	※		ゼミ 研究室	
入学試験 志望専攻 (○で囲む)	一般 公募制推薦 社会人 社会人推薦 外国人留学生 法科大学院修了者 新司法 英語検定有資格者	博士前期 修士	研究科 専攻 専修				
	博士後期						
出身大学等  きりとり 線	大学 国 公立 私	学部 卒業(修了)・卒業(修了)見込み				学科	
	大学 国 公立 私	研究科 修士課程 博士前期課程				専攻	
連絡先		自宅TEL( ) 携帯電話等TEL( )					— —
希望専修科目名 (該当者のみ記入)					希望指導教授名		
備考							

◆事前協議の申込締切日は、各研究科の「事前協議について」を参照のこと。

注) 1. 事前協議を郵送で申し込む場合は、下記宛に送付してください。

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 「関東学院大学 アドミッションズセンター 大学院係」  
(「事前協議申込書在中」と封筒に朱書きしてください)

2. ※印欄は本学出身者のみ記入してください。

鉛筆書き不可



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

# 関東学院大学大学院 履歴票

志望専攻 (○で囲む)	博士前期・修士課程／博士後期課程	フリガナ
	研究科	
	専攻	

入試区分 (○で囲む)	一般入試	学内推薦入試	写真貼付欄  写真の裏に氏名を記入の上、全面のり付けしてください。 (縦4cm×横3cm)
	社会人推薦入試	外国人留学生入試	
	新司法試験合格者特別選抜試験	公募制推薦入試	

住 所	〒	—	
	TEL	( )	—
	E-mail		

国籍 (外国人のみ記入)	留学の在留資格	あり・なし	生年月日	年 月 日 (満 歳)
-----------------	---------	-------	------	-------------

性 別	男 · 女	昼間の連絡先 (職場、携帯電話など)	名称	TEL ( ) —
-----	-------	-----------------------	----	--------------

学歴 (出身学校が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在卒業・修了見込みの者は卒業・修了年月欄に卒業・修了見込み年月を記入)	学校名(学部・学科／コースまで記入)	所在地(都道府県名)	入学年月(西暦)	卒業・修了年月(西暦)
	小学校		年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

職歴 (企業・施設が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在職業に就いている者は退職年月欄に「現在に至る」と記入)	企業・施設名	所在地(都道府県名)	就職年月(西暦)	退職年月(西暦)
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

進路希望調査 (博士前期課程に出願する者のみ○で囲む)	博士前期課程修了後 (1) 継続して博士後期課程へ進学することを希望 (2) 企業・施設等へ就職することを希望 (3) 現在の企業・施設等に引き続き勤務する
--------------------------------	---

比較日本文化専攻希望専攻分野 経済学研究科希望専攻分野 工学研究科希望専修科目 看護学研究科希望領域	希望指導教授
---	--------

◎試験科目 (該当者のみ記入)

英語英米文学専攻 専攻科目 (○で囲む)	英米文学 英語学	法学研究科論文科目・法律科目 経済学研究科経済学専攻専門科目 工学研究科専門基礎科目 看護学研究科専門科目(1科目) ①	②	外国語科目 (○で囲む)	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 朝鮮語 日本語
----------------------------	-------------	--	---	-----------------	---------------------------------

本学出身 (学部・大学院) は学籍番号を記入	法学研究科コース (法学研究科博士前期課程の一般) (入学試験の場合のみ○で囲む)	研究者養成コース 専修コース
------------------------	---	-------------------



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院  
職務経験書(表紙)

き  
り  
と  
り  
線

課程(○で囲む)	博士前期課程・博士後期課程
志望専攻	研究科 専攻
入試区分	社会人入試

フリガナ	
氏名	

◇ 任意のA4判の用紙を使用し、職務経験を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。  
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可



関東学院大学大学院  
文学研究科  
研究計画書

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

課程(○で囲む) 志望専攻	博士前期課程・博士後期課程 文学研究科 専攻	フリガナ	
		氏名	

◎研究計画(テーマ)

きりとり線

◎専攻科目(英語英米文学専攻のみ○で囲む) 英米文学・英語学(英語教育学を含む)	◎専攻科目(比較日本文化専攻のみ記入)	◎希望指導教授名 (文学研究科授業科目表の研究指導○印の教員より選ぶこと)
---	---------------------	--

◇自筆で記入してください。

◇所定用紙に収まらない場合には、任意の用紙(A4判)に記入し添付してください。

鉛筆書き不可



関東学院大学大学院  
社会人（推薦）入学試験  
在職（所属）する機関等の推薦状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

機関等名 \_\_\_\_\_

所属長名 \_\_\_\_\_ 印

関東学院大学大学院の社会人（推薦）入学試験制度による入学志願者として、  
以下の者を推薦します。

課程	博士前期課程	フリガナ	
志望専攻	文学研究科 社会学専攻	氏 名	

（推薦理由）

（この欄は複数行で記入可能）

◇ 志願者の人物・勤務状況等の所見をご記入ください。



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院  
経済学研究科  
研究計画書（表紙）

き  
り  
と  
り  
線

課程(○で囲む)	博士前期課程・博士後期課程
志望専攻 (○で囲む)	経済学専攻・経営学専攻
入試区分 (○で囲む)	一般入試 学内推薦入試 社会人入試 外国人留学生入試

フリガナ	
氏名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意のA4判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。  
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可



# 関東学院大学大学院法学研究科

## 出願資格審査願

年 月 日

関東学院大学 学長殿

申請者氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

※該当するものを○で囲むこと

募集期		博士前期課程	博士後期課程
8月	1月	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般入学試験（研究者養成コース・専修コース）</li><li>・社会人入学試験（専修コース）</li><li>・外国人留学生入学試験（専修コース）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般入学試験</li><li>・法科大学院修了者特別選抜試験</li><li>・社会人入学試験</li><li>・新司法試験合格者特別選抜試験</li><li>・外国人留学生入学試験</li></ul>

〔出願資格審査において補足すべき事項〕（資格証明書類は写しを添付のこと）

き  
り  
と  
り  
線



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

**関東学院大学大学院**  
**法学研究科**  
**研究計画書 (表紙)**

きりとり線

課程(○で囲む)	博士前期課程・博士後期課程
志望専攻	法学専攻
入試区分 (○で囲む)	一般入試 学内推薦入試 社会人入試 外国人留学生入試

フリガナ	
氏名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意の A4 判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。  
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院  
法学研究科  
リサーチペーパー(表紙)

き  
り  
と  
り  
線

志望専攻	博士後期課程 法学研究科 法学専攻
入試区分 (どちらか○で囲む)	法科大学院修了者特別選抜入試 新司法試験合格者特別選抜入試

フリガナ	
氏名	

論文題名	
------	--

- ◇ 任意のA4判の用紙を使用し、本表紙をつけて提出してください。
- ◇ 必ず日本語で記述してください。(字数15,000字程度、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可



# 関東学院大学大学院 法学研究科 自己推薦状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

課程 (○で囲む)	博士前期課程	博士後期課程
入学試験 (○で囲む)	社会人入学試験（専修コース）	社会人入学試験
フリガナ		
氏名		

あなたが関東学院大学大学院の法学研究科法学専攻で学ぶのに相応しい学生である理由を、経歴、業績等と関連させながらアピールしてください。

きりとり線

（以下に記入欄があります）

- ◇ 自筆で記入してください。
- ◇ 博士前期課程・博士後期課程の社会人入学試験受験者のみ提出してください。



# 関東学院大学大学院 公募制推薦入学試験 推 薦 状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

学 校 名 \_\_\_\_\_

職位・役職等 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

関東学院大学大学院の公募制推薦入学試験制度による入学志願者として、  
以下の者を推薦します。

志望専攻	博士前期課程	フ リ ガ ナ	
	工学研究科 専攻	氏 名	

(推薦理由)

（以下に推薦理由を記入する用紙）

鉛筆書き不可



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院 看護学研究科  
**入学試験出願資格認定申請書**

関東学院大学 学長殿

貴大学院看護学研究科入学試験の出願資格認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請いたします。

年 月 日

ふりがな

氏名

生年月日 年 月 日 生

〒 —

現住所

電話番号： — — —

きりとり線

西暦	学歴 (高等学校卒業から記入してください)
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

**関東学院大学大学院**  
**看護学研究科**  
**研究計画書 (表紙)**

きりとり線

課 程	修士課程
志 望 専 攻	看護学研究科・看護学専攻
入 試 区 分 (○で囲む)	一 般 入 試 学 内 推 薦 入 試 社 会 入 試

フ リ ガ ナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意のA4判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。  
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可



受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院  
看護学研究科  
志望理由書（表紙）

き  
り  
と  
り  
線

課 程	修士課程
志望専攻	看護学研究科・看護学専攻

フ リ ガ ナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇（A4判の用紙1枚程度、横書き、ワープロ使用可）

鉛筆書き不可



## 長期履修申請書

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ 課程 \_\_\_\_\_

受験番号 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏 名 \_\_\_\_\_

下記のとおり長期にわたる教育課程の履修を申請します。

記

きりとり線

入学予定年月日	2023年 4月 1日		
現 住 所	〒	-	
	TEL ( ) -		
勤務先	名称・職種等		
	所 在 地	〒	-
	TEL ( ) -		
長期履修申請期間	年 月 日から 年 月 日まで ( 年間)		
理 由			
履 修 計 画			
(*) 指導教員の所見	署名 _____		

\*志願者は空欄のまま提出してください。



# 関東学院大学 大学院経済学研究科 長期履修計画書

フリガナ 氏名			
課程 (○で囲む) 博士前期課程 博士後期課程	博士前期課程 博士後期課程	専攻	専攻

## 履修計画（履修計画・研究計画）

（博士前期課程にあっては、履修計画及び本研究科において取組みたい研究課題を、博士後期課程にあっては、本研究科において取組みたい研究課題について記入してください。なお、希望する在学期間のそれぞれの年度・学期別に、履修する予定の科目数等も含めて具体的に記入してください。）

き  
り  
と  
り  
線

希望指導教員氏名	
----------	--

◇所定用紙に書ききれない場合には、任意の用紙（A4判）に記入し添付すること。



## 在職證明書

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 性別 男・女

上記の者は、下記の通り当社に在職していることを証明いたします。

記

1. 所属部署 \_\_\_\_\_

2. 入社年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 勤続 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ ヶ月

3. 地位（役職等）\_\_\_\_\_

4. 給与（月額）\_\_\_\_\_

5. 勤務時間 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分

6. 勤務内容  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

証明者

所在地 〒 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

企業名 \_\_\_\_\_

事業主氏名（役職・氏名）

印



## 2022年度入学試験状況表(大学院) 8月募集

課 程	研究 科	入試試験区分		一 般		学内推薦		公募推薦		社会人		社会人 推 荐		外国人 留学生		法 科 修了者		新司法試験 合 格 者		英語検定有 資 格 者		合 計	
		専 攻	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格									
博士前期・修士課程	文学研究科	英語英米文学専攻																1	1	1	1		
		比較日本文化専攻																	0	0			
		社会学専攻											1	0						1	0		
		合計											1	0					1	1	2	1	
	経済学研究科	経済学専攻																	0	0			
		経営学専攻								1	1								1	1			
		合計								1	1								1	1			
	法学研究科	法学専攻(研究者)																					
		法学専攻(専修)							5	4									5	4			
		合計							5	4									5	4			
	工学研究科	機械工学専攻	1	0	6	6													7	6			
		電気工学専攻	2	1	1	1													3	2			
		情報学専攻			2	2													2	2			
		建築学専攻	4	4	7	7													11	11			
		土木工学専攻			4	4													4	4			
		物質生命科学専攻	3	3	7	7													10	10			
		合計	10	8	27	27													37	35			
	看護科学	看護学専攻																					
		合計																					
合計			10	8	27	27					6	5			1	0			1	1	45	41	
博士後期課程	文学研究科	英語英米文学専攻																					
		比較日本文化専攻																					
		社会学専攻	1	1															1	1			
		合計	1	1															1	1			
	経済学研究科	経済学専攻																					
		経営学専攻																					
		合計																					
	研究科学	法学専攻																					
		合計																					
	工学研究科	建築学専攻																					
		総合工学専攻																					
		合計																					
合計			1	1															1	1			
合計			11	9	27	27					6	5			1	0			1	1	46	42	

## 2022年度入学試験状況表(大学院) 1月募集

課 程	研究 科	入試試験区分		一 般		学内推薦		公募推薦		社会人		社会人 推 荐		外国人 留学生		法 科 修了者		新司法試験 合 格者		英語検定有 資 格者		合 計	
		専 攻		志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	合 格	志 願	
博士前期・修士課程	文学研究科	英語英米文学専攻																					
		比較日本文化専攻																					
		社会学専攻											7	2							7	2	
		合計											7	2							7	2	
	経済学研究科	経済学専攻																					
		経営学専攻											1	1							1	1	
		合計											1	1							1	1	
	法学研究科	法学専攻（研究者）																					
		法学専攻（専修）											3	2							3	2	
		合計											3	2							3	2	
	工学研究科	機械工学専攻	1	1											1	1						2	2
		電気工学専攻	1	1	1	1																2	2
		情報学専攻													1	1						1	1
		建築学専攻	2	2	1	1									2	1						5	4
		土木工学専攻	1	1	1	1									1							3	2
		物質生命科学専攻	1	1	2	2	3	2	1	1												7	6
		合計	6	6	5	5	3	2	1	1					5	3						20	17
		看護学専攻	1	0							2	2										3	2
		合計	1	0							2	2									3	2	
		合計	7	6	5	5	3	2	6	5					13	6						34	24
博士後期課程	文学研究科	英語英米文学専攻	1	1																		1	1
		比較日本文化専攻																					
		社会学専攻																					
		合計	1	1																		1	1
	経済学研究科	経済学専攻																					
		経営学専攻									1	1									1	1	
		合計									1	1										1	1
	研究科学	法学専攻																					
		合計																					
	工学研究科	建築学専攻			1	1															1	1	
		総合工学専攻			1	1				3	3										4	4	
		合計			2	2				3	3										5	5	
		合計	1	1	2	2				4	4										7	7	
合計		8	7	7	7	3	2	10	9						13	6						41	31



◇ 事務取扱時間

月～金 9:00～16:00

土 9:00～12:00

(日・祝日・夏季・冬季休業期間等を除く)

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1 ☎ 045-786-7019

[E-mail] nyushi@kanto-gakuin.ac.jp

[ホームページ] <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>